

第九回テクノロジー犯罪被害フォーラム

2016年4月17日(日)日比谷図書文化館 地下1階 大ホール

2016年5月15日(日)大阪府立男女共同参画・青少年センター 5階 特別会議室

主催：NPOテクノロジー犯罪被害ネットワーク

みんなで知ろう！

テクノロジー犯罪と嫌がらせ犯罪

設立後18年間(1998年1月25日)

1. テクノロジー犯罪の撲滅

2. 嫌がらせ犯罪の撲滅

二つの犯罪の撲滅に取り組む団体

1. テクノロジー犯罪

- 見えない媒体(電磁波・超音波・光・超低周波音等)を用いて、遠隔からピンポイントで狙いを定めて、精神・身体を攻撃しコントロールする犯罪

2. 嫌がらせ犯罪

- 24時間365日継続する組織的嫌がらせ行為

18年間の調査の結果

被害者は全国
に居住！

犯罪主体の意思次第でいつでも
誰でも被害者となり得る環境が
整えられている！

国民全体に何らかの
影響が及んでいる！

すべての国民に思い
当たるものがある！

みなさまの気づきを促すために、
みんなで知ろう！テクノロジー犯罪と嫌がらせ犯罪

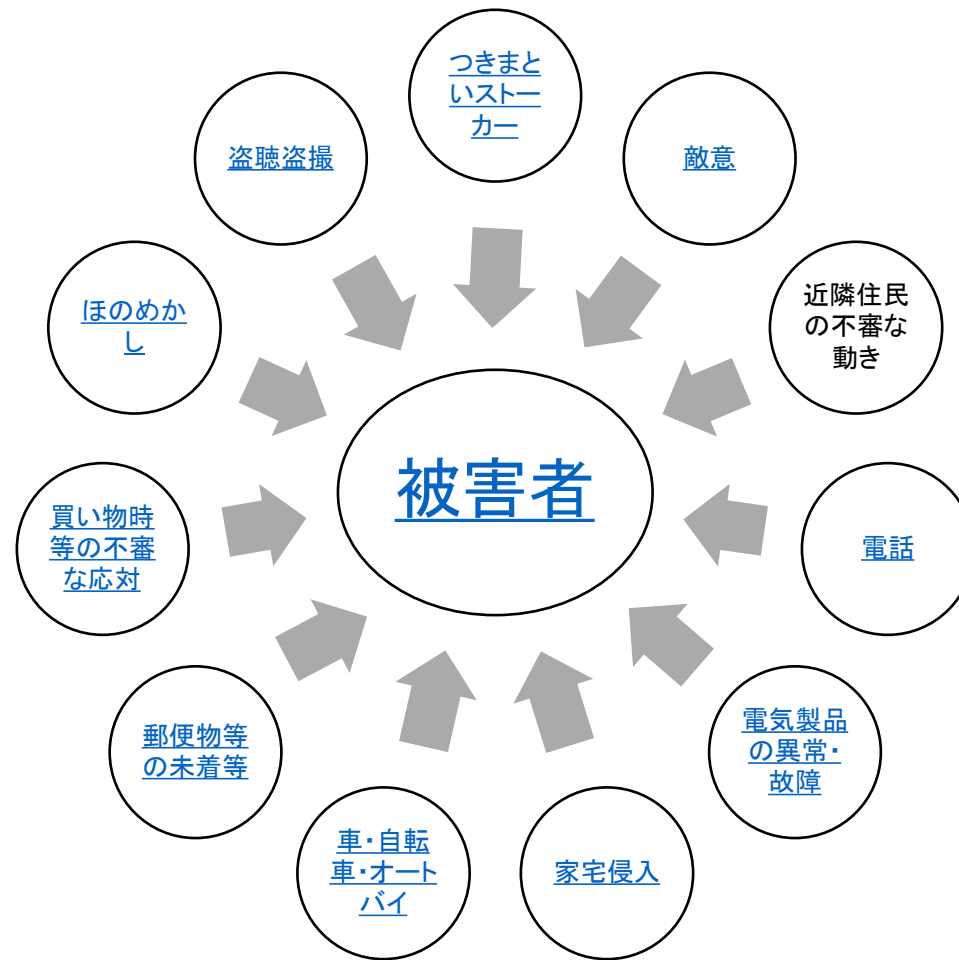
第一部

嫌がらせ犯罪の実態

嫌がらせ犯罪被害アンケート

盗聴 盗撮 人によるつきまとい(尾行・ストーカー)・見張り 車を使ってのつきまとい・見張り
オートバイを使ってのつきまとい・見張り 無言電話 脅迫電話 電話器の異常 家宅侵入
敷地内侵入 家内での金品の紛失 家内での金品の移動 敷地内への物の投げ込み
家内への物の投げ込み 家内荒らし 敷地内荒し 敷地内・周辺への動物の死骸の投棄
敷地内・周辺への糞便の投棄 強姦 暴行 脅迫 罵倒
不審な言動にらみつけ・つば吐き等敵意ある態度 隣人の不審な動き 職場での不審な動き
察の不審な動き うわさ ビラまき 仲間はずれ(孤立) パソコンへの介入 不審メール
電気製品の故障 電気製品の誤動作 蛍光灯の点灯不良
車・自転車・オートバイへのいたずら 車の操作不能 車走行時異物による攻撃 車のドアの開
閉不良 郵便物の未着 買い物時の不審な応対
TV・ラジオキャスターによる個人攻撃を思わせる不審な言動・態度・番組内容

代表的な嫌がらせ犯罪被害例



嫌がらせ犯罪被害例1：つきまとい・ストーカー 65%



家の門を一步出ると不特定多数の人間によって入れ替わり立ち代わりつきまといわれる

車・オートバイ・自転車と外出する手段変えても同じようにつきまといわれる 52%

様々な嫌がらせを伴う

恋愛感情関係なく不特定多数

監視

打ち合わせ
教育

つきまとい実行部隊
(徒歩・車等)

連絡網

嫌がらせ犯罪被害例2: 敵意との遭遇 41%

にらみつけ、唾吐き、通りすがりの罵倒、ほのめかし、進行妨げ、前の人が急に後ろを振り向きしばしばぶつかる、車運転時(上手に前に割り込み徐行、特に大きなダンプ・清掃車・バキュームカー、真黒い排気ガス排出、信号時扉開け唾吐き、事故の演出、信号操作、渋滞の演出、4・9・666等意味あるナンバープレート)等々

監視

打ち合わせ
教育

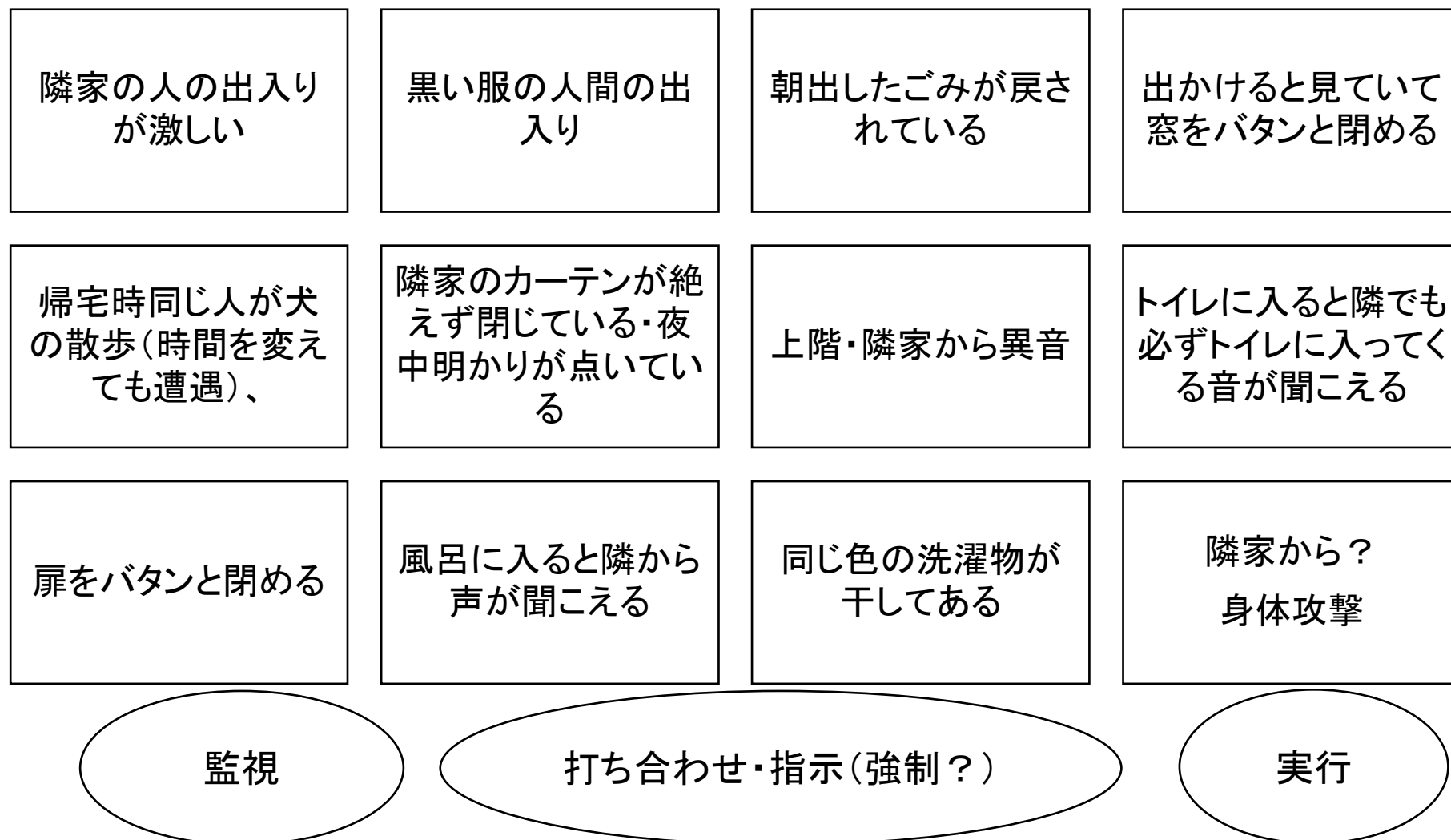
つきまとい

被害者が向
かう先に指示

実行

確認

嫌がらせ犯罪被害例3: 近隣住民の不審な動き 49%



嫌がらせ犯罪被害例4：電話での嫌がらせ

異常38%・無言電話31%

無言電話、ワン切り電話、嫌がらせ電話、電話機から異常音、何かしようとした瞬間電話、通話中の切断、就寝時1時間おきの電話、発信していない発信履歴、故障、通話中相手の言葉の微妙な合間にサブリミナルのように非難する声、盗聴

監視

嫌がらせコール
実行センター

証拠をつかめる可能性：電話会社に使用履歴を情報公開してもらう。掛かってきた日時・電話番号をまとめて警察に相談する

嫌がらせ犯罪被害例5：電気製品の誤動作・故障

誤動作41%・故障41%

PC・家電製品の頻
繁な誤動作および
故障

故障の相談の電話
をすると、待ち構え
ていたかのように
不審な対応。

証拠取りのための
録音機材が故障、
録音が消されてい
る。

・インターネット回線・電話回線・電源を通してあるいは無線で操作
するオペレーションセンターの存在？

・被害者専用電話相談窓口の存在？

監視

実行

相談電話転送

相談窓口対応

嫌がらせ犯罪被害例6：家宅侵入 42%

物の移動、紛失、なくなっていた物が日を改めて別の場所で発見、鍵壊す、服が縫われている、衣服や電気製品が交換されている、化粧品が減っているorいくら使っても減らない、部屋が濡れている、埃が一面広がっている、新聞紙を丸めて陰部をかたどって置かれている、冷蔵庫の食品が食べられている、飼い猫が殺されている等々

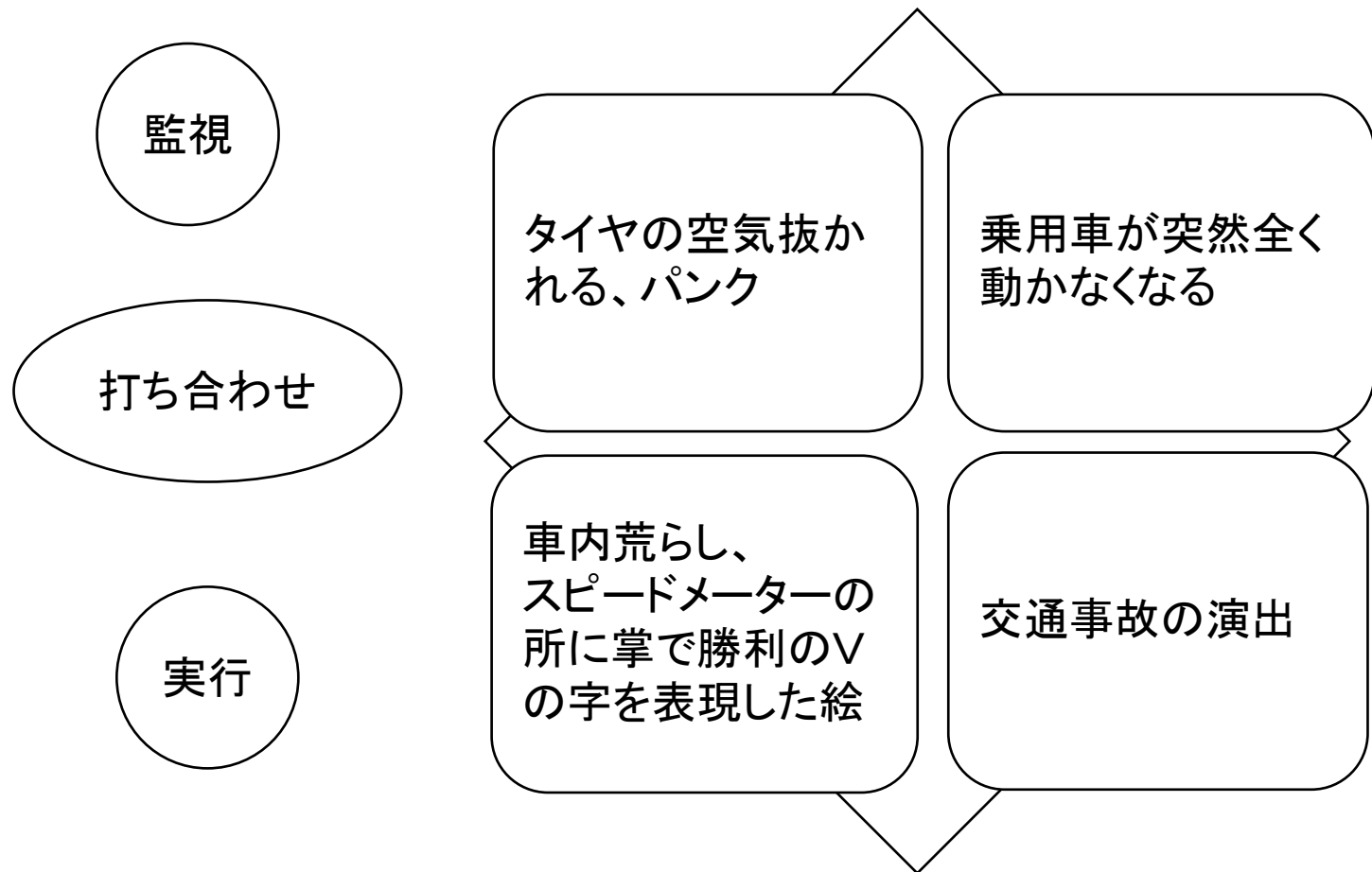
鍵を替え、防犯カメラを設置し、警備会社に契約しても対処できない。
家から離れられなくなる。

監視・打ち合わせ

家宅侵入実行部隊

家の外から物を動かせるのか？ 物を一時的に紛失させ再現できるのか？

嫌がらせ犯罪被害例7：乗り物への嫌がらせ行為 31%



車へのハッキング行為

嫌がらせ犯罪被害例8：郵便物等の未着 未着20%

2012年4月・5月・6月奥野総一郎議員宛て書留・速達・普通郵便が3通とも届いていなかった。秘書に一筆書いてもらい、内容証明書に添付して郵便会社社長あてに送付。配達した旨の報告を書面でもらったが未だ3通不明。

未配達

配達後の
抜き取り

受け手の問題

嫌がらせ犯罪被害例9：買い物時（等）の不審な対応 35%

スーパー、コンビニ・ホームセンターのレジ、銀行、郵便局、役所、食堂、レストラン、パーマ・床屋・趣味の場等々

この連携は何なのか？

警察

嫌がらせ犯罪実行手順：ターゲットの指定、嫌がらせ内容の打ち合わせ、人的配置及び指示、ターゲットの監視・つきまとい、嫌がらせ実行、指示通り実行しているか確認

警視総監及び各県警本部長宛て要望書

要望項目2. テクノロジー・嫌がらせ両犯罪について最も身近な県警本部長指揮下の全警察官に以下のアンケート調査を実施して下さい。そのためには要望項目1を確実に実施する必要があり、その認識をもって両犯罪被害を経験していないか、経験している場合どのような被害か、また加害者側に加担せざるを得ないよう圧力を掛けられたことはないか、ありの場合はどのような行為を強いられたのか、全警察官を対象にアンケート調査を実施して集計して下さい。その結果と当NPOのアンケート集計結果とを比較すれば当NPOの訴えを別の面から裏付けることになります。また警察官の意識状況を新しい面から認識できるようになります。これを人事に大いに利用して下さい。

都道府県知事宛て要望書

要望事項5. テクノロジー・嫌がらせ両犯罪について最も身近な都職員・都内全自治体職員に以下のアンケート調査を実施して下さい。また警視庁指揮下の全警察官にも同様のアンケート調査を実施するよう警視総監に要請して下さい。そのためには要望事項1を確実に実施する必要があり、その認識をもって両犯罪被害を経験していないか、経験している場合どのような被害か、また加害者側に加担せざるを得ないよう圧力を掛けられたことはないか、ありの場合はどのような行為を強いられたのか、全職員を対象にアンケート調査を実施して集計して下さい。その結果と当NPOのアンケート集計結果とを比較すれば当NPOの訴えを別の面から裏付けることになります。また都職員・都内自治体職員・警視総監指揮下の全警察官の意識状況を新しい面から認識できるようになります。これを人事に大いに利用して下さい。

嫌がらせ犯罪被害例10: ほのめかし被害

TV／ラジオキャスターによる個人攻撃を思わせる不審な言動・態度・番組内容30%

職場で、外出中、本人しか知らないプライバシーのほのめかし

TV／ラジオからのほのめかし及び被害者の行動がネタに使われている

盗聴・盗撮・TVから覗かれている

インターネット上でのほのめかし: 2チャンネル

デジタル放送の時代: 被害者だけに特別な情報が伝えられる心配

視聴全放送の記録態勢と放送したものとの照合態勢の確立

国立国会図書館: 全TV／ラジオ放送の閲覧態勢の確立

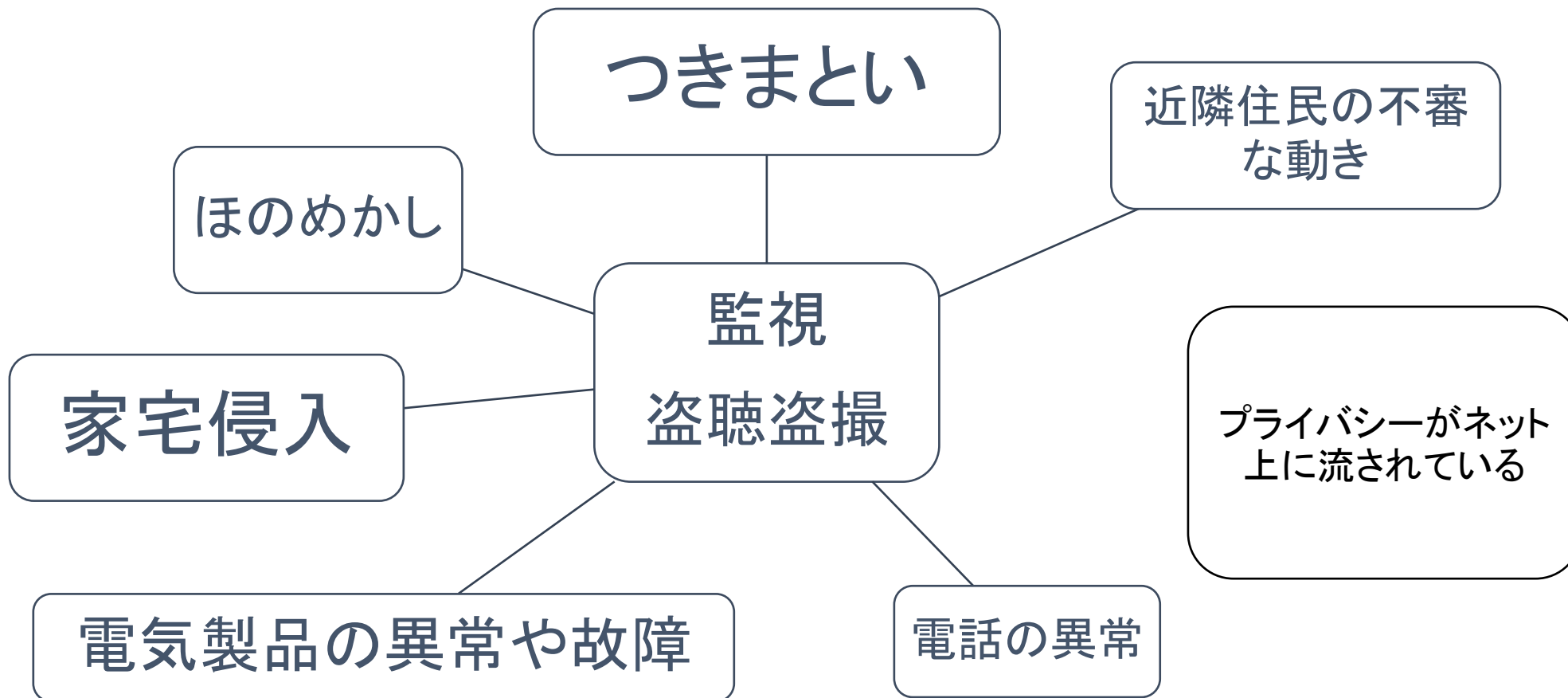
監視・情報取得

打ち合わせ

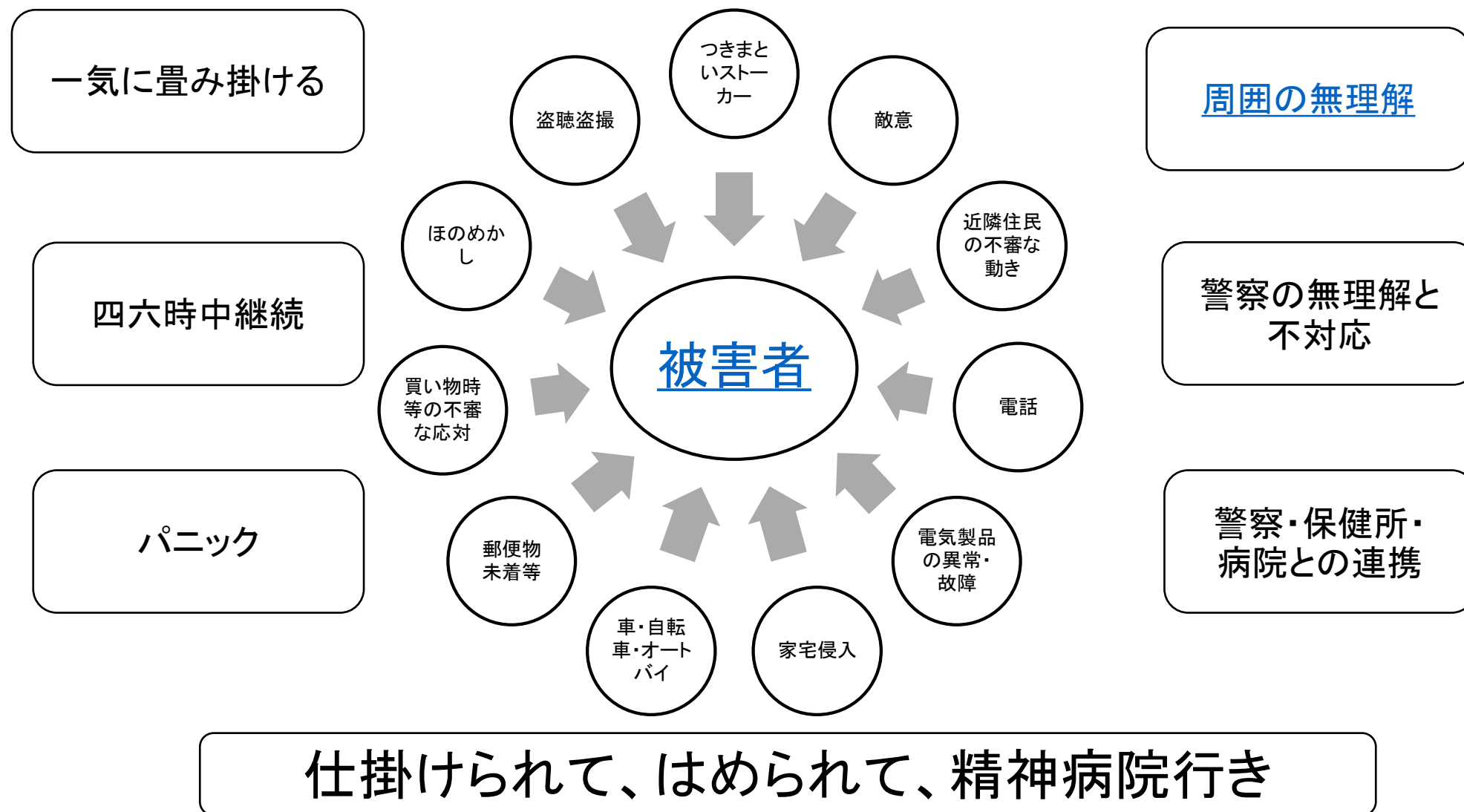
実行

嫌がらせ犯罪被害11：盗聴・盗撮

盗聴66%・盗撮55%



嫌がらせ犯罪被害者の状況



周囲の無理解



つきまとい・ストーカー行為

家の門を一步出ると
つきまといが始まる

見張っている

敵意ある態度

ほのめかし

車で外出してもつき
まといがある

車が群がってくる
渋滞の演出

悪意を感じる不自
然な運転

信号操作
中央制御室関与？

家の中でもつきまと
われている

自分の動きと同じ
ように上階でも動
いている

絶妙のタイミングで
不可思議現象が発
生する

つきまとい・ストーカー行為

外出中
在宅中

四六時中

不特定多数

監視行為に
基づく

打ち合わせの上
実施

一定の線を超えな
いことから教育・訓
練が行き届いている

恋愛感情なし

遠方に移動しても
引っ越しても
行われる＝
犯罪組織網の存在

つきまとい(ストーカー)とストーカー規制法

1999年10月26日
桶川女子大生
殺人事件

ストーカー規制法 成立

- 恋愛感情
- 特定個人
- 検挙数増大

逗子市ストーカー 殺人事件

- 2012年(平成24年)
11月6日、逗子市ス
トーカー殺人事件:10
00件を超える迷惑メ
ール送信があったが法に
未記載-----議員立法で
ストーカー規制法の改
正案=はっきりと文言
で謳われる必要あり。

ストーカー規制法 改正

- 恋愛感情外されない
- 不特定多数によるつき
まとい

ストーカー規制法
で足りないものを
迷惑防止条例で補
完する動き

ストーカー規制法と恋愛感情

(元公明党幹事長、元参議院議員 福本潤一氏証言)

「この法律が、恋愛感情を理由とするつきまとい行為だけを取り締まりの対象にすることに決まったのは、公明党議員の働きかけが大きかった。学会員の折伏のためにしつこくつきまといとして、取り締まりの対象となっては困るからです。あの時与党だったから、国会に上程される前の法律原案の段階で、修正できたのです。」

『池田大作と暴力団P122』宝島社刊

米国のストーカー事情

米国司法省情報公開 2006年度

過去1年間に受けたストーカー被害で、何人の複数犯が関与している、と認識していますか？

加害者の人数	被害者数	%
	総計342万4110人	100
1	2,111,220	61.7
2	619,300	18.1
3	213,770	6.2
4	98,290	2.9
5	59,370	1.7
6	13,680	0.4
7	6,290	0.2
8	3,380	0.1
10	6,560	0.2
11	3,150	0.1
12	20,790	0.6
15	7,120	0.2
20	3,150	0.1
30	5,580	0.2
50	5,670	0.2
不明	221,330	6.5
その他	25,470	0.7
3人以上 複数	446,790	13

米国のストーカー事情

加害者たちのストーカー行為は、チームやグループの形態をとっていましたか？

3人以上の 複数犯	被害者数%	
	446,790	100
はい	185,050	41.2
いいえ	230,080	51.5
不明	26,550	5.9
その他	6,110	1.4

3人以上の加害者に狙われていると訴える44万6790件のうち、10人につき4人が、加害者が連携して犯行を行っていたと認識している。

各自治体でストーカー規制法を補完するため 迷惑防止条例を改正強化する動き

検挙数の増加

群馬
県

青森
県

千葉
県

神奈
川県

滋賀
県

兵庫
県

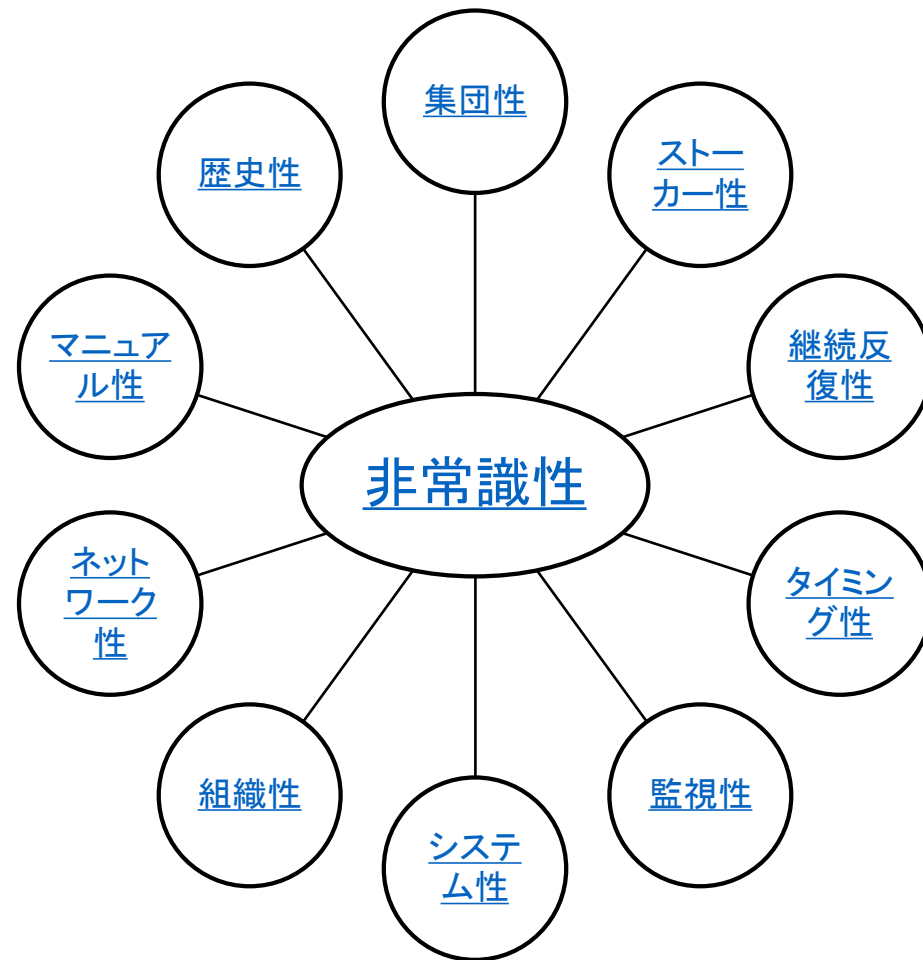
ストーカー規制法の改正



(組織的)嫌がらせ犯罪防止法

嫌がらせ犯罪にみられる11の特徴

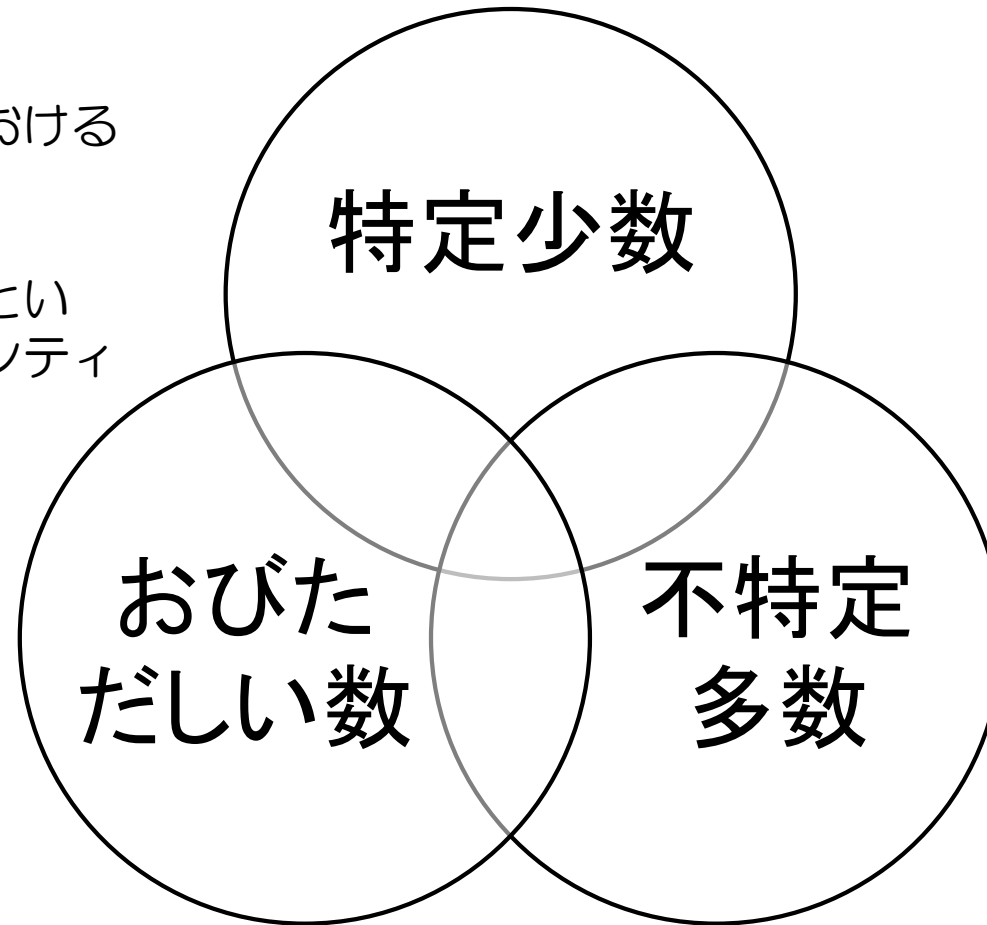
理解を越える非常識



嫌がらせ被害の特徴①集団性

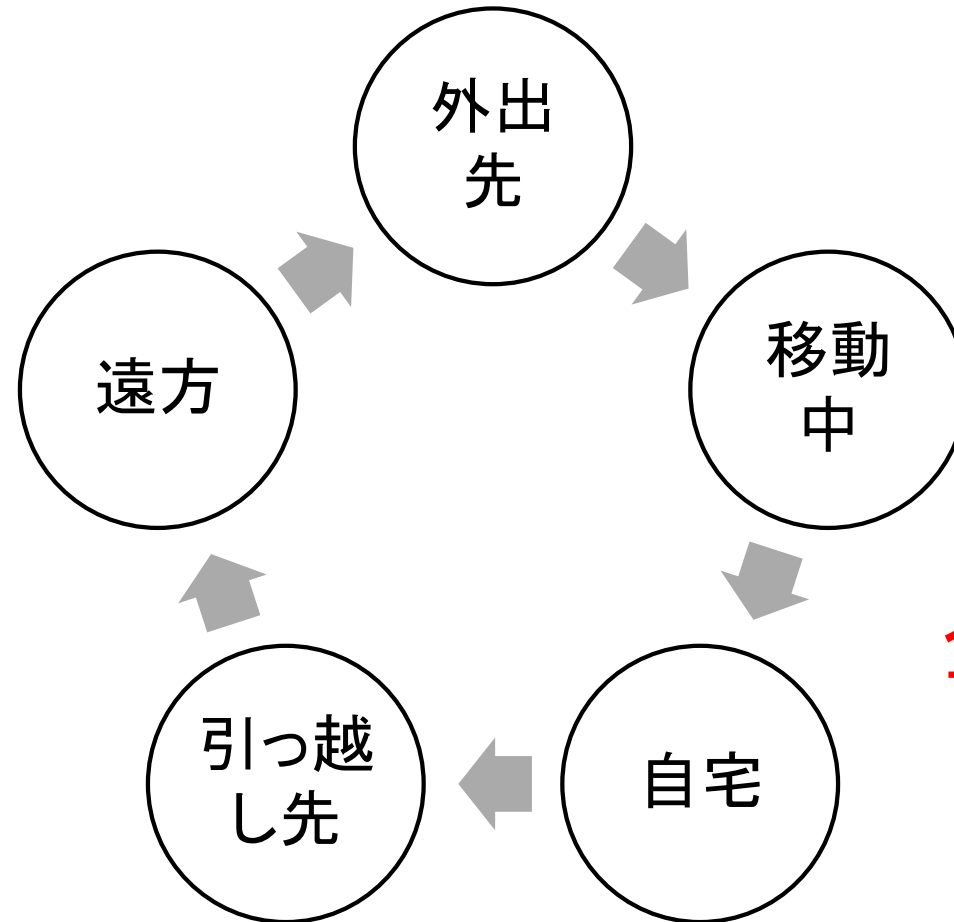
つきまといにおける
集団性

車でのつきまとい
フォックスハンティ
ング



組織犯罪

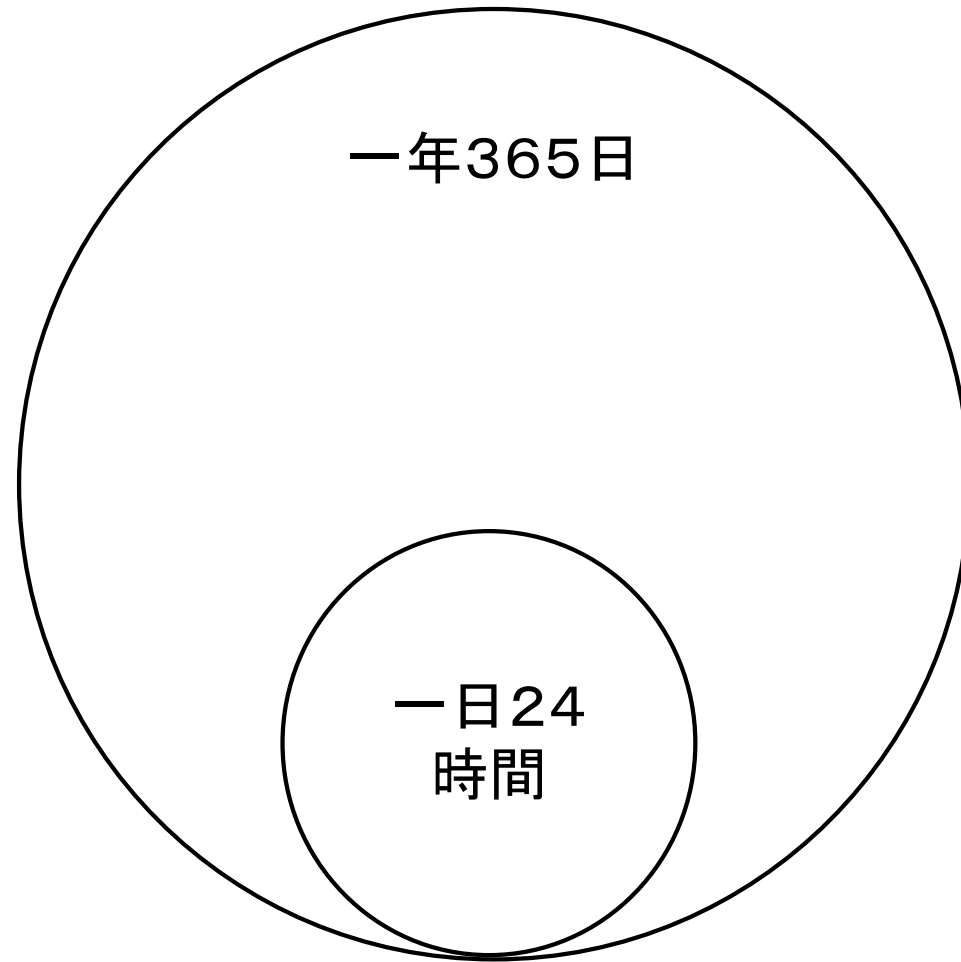
嫌がらせ被害の特徴② ストーカー性



監視行為を伴う

全国的な組織犯罪

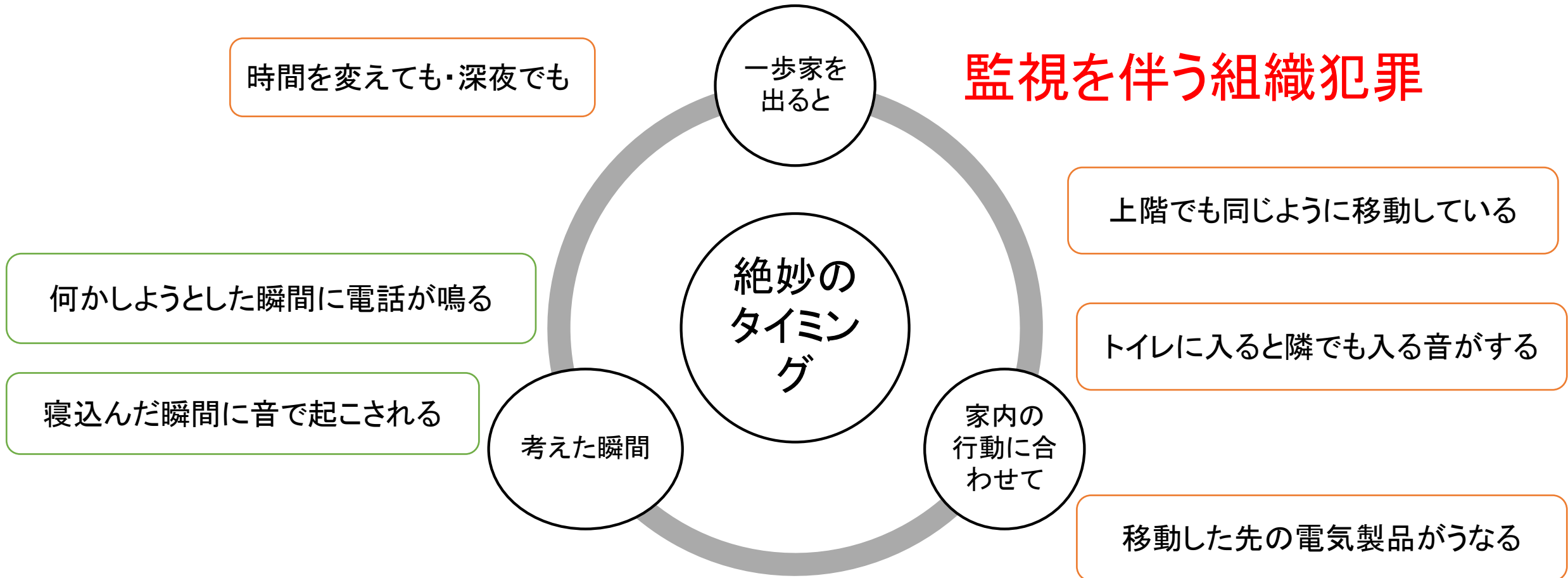
嫌がらせ被害の特徴③継続 & 反復性



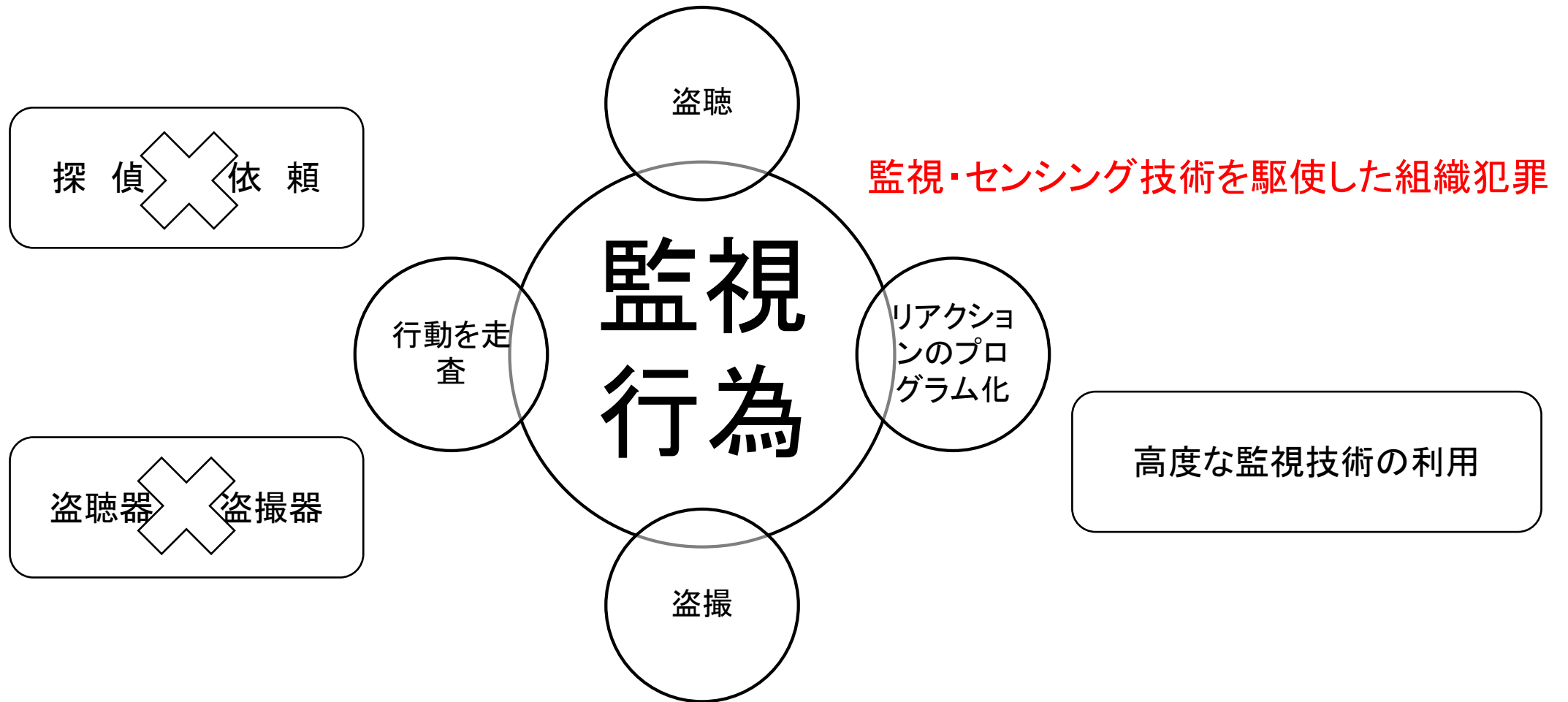
組織犯罪

嫌がらせ被害の特徴④タイミング性

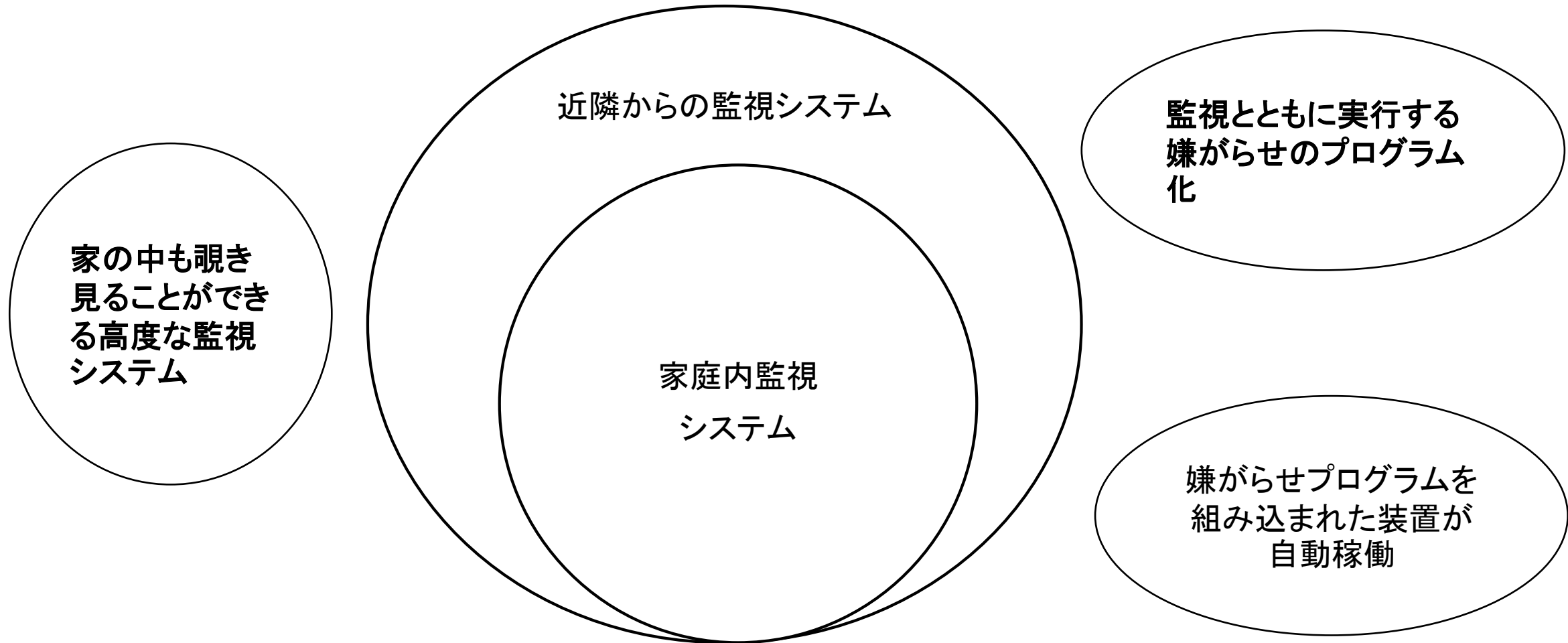
監視を伴う組織犯罪



嫌がらせ被害の特徴⑤監視性



嫌がらせ被害の特徴⑥ システム・プログラム性

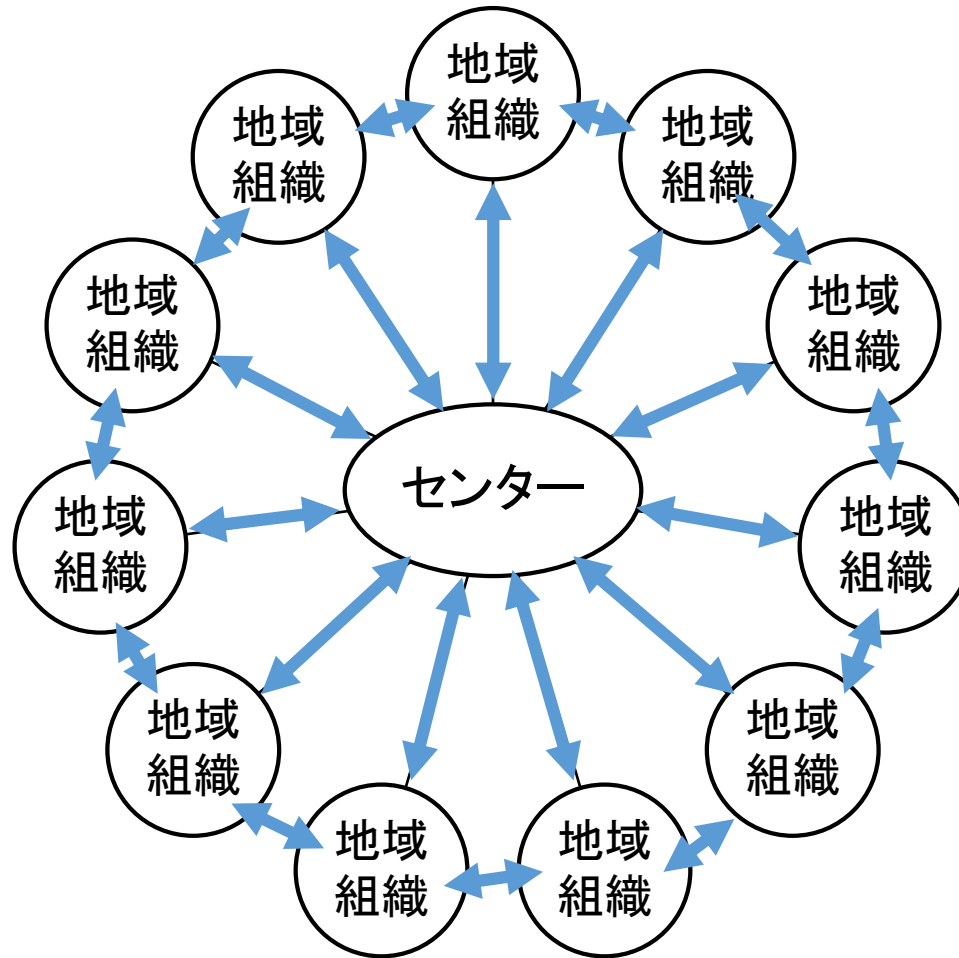


嫌がらせ被害の特徴⑦組織性

被害者は全国に居住

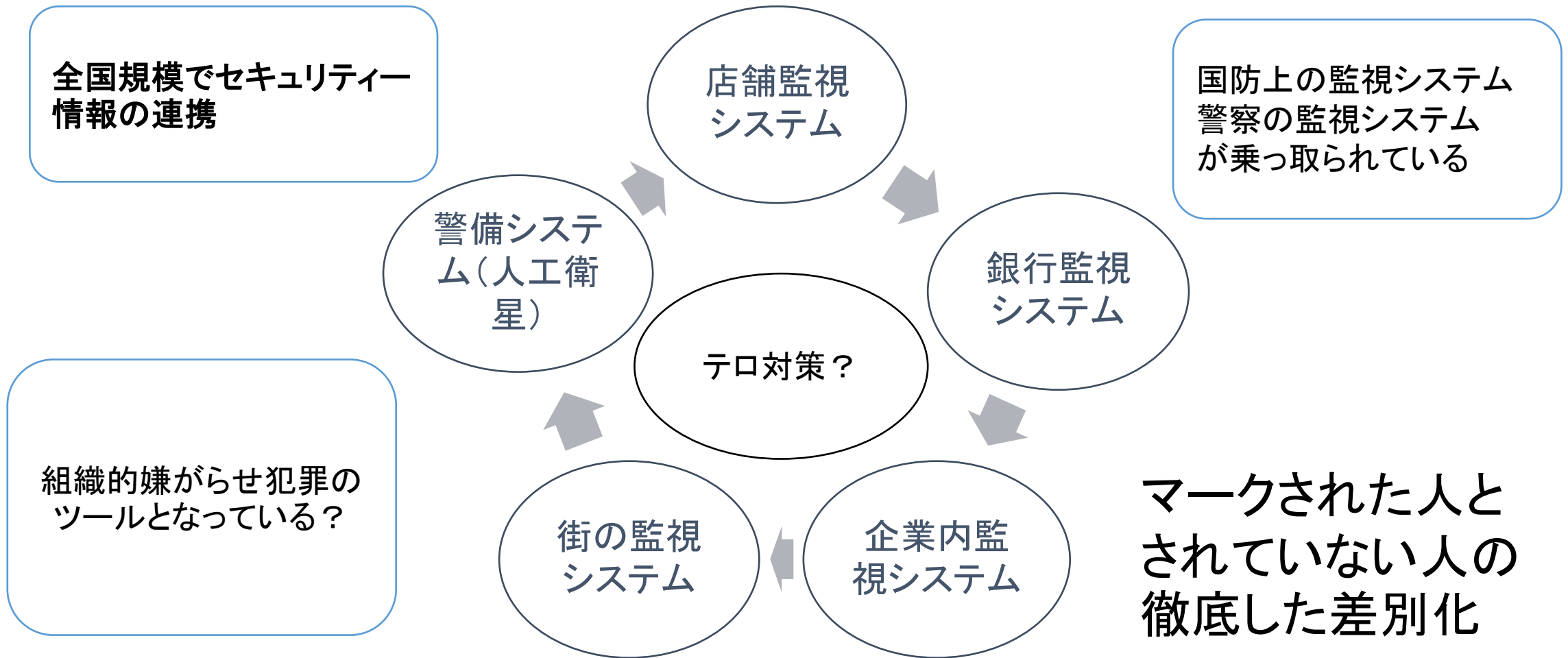
遠方に移動しても行なわれる

引っ越しても変わらない



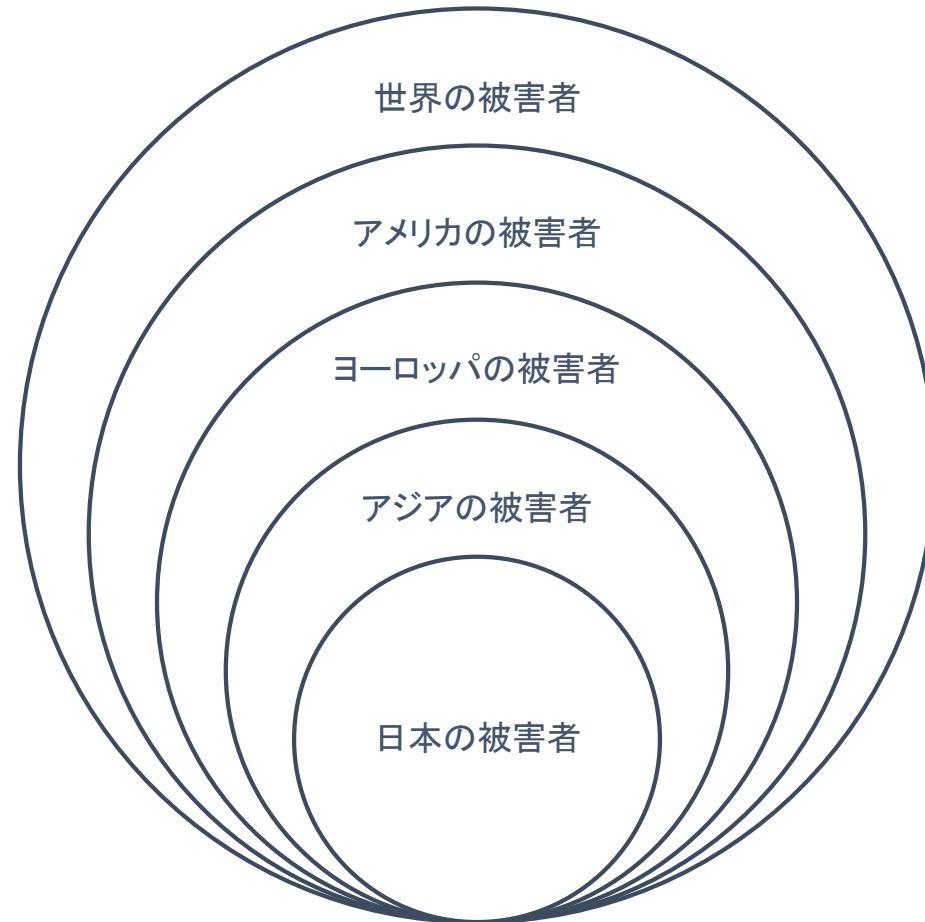
連絡網を完備
した組織犯罪

嫌がらせ被害の特徴⑧ ネットワーク性



嫌がらせ被害の特徴⑨ マニユアル性

犯罪組織の
国際的連携

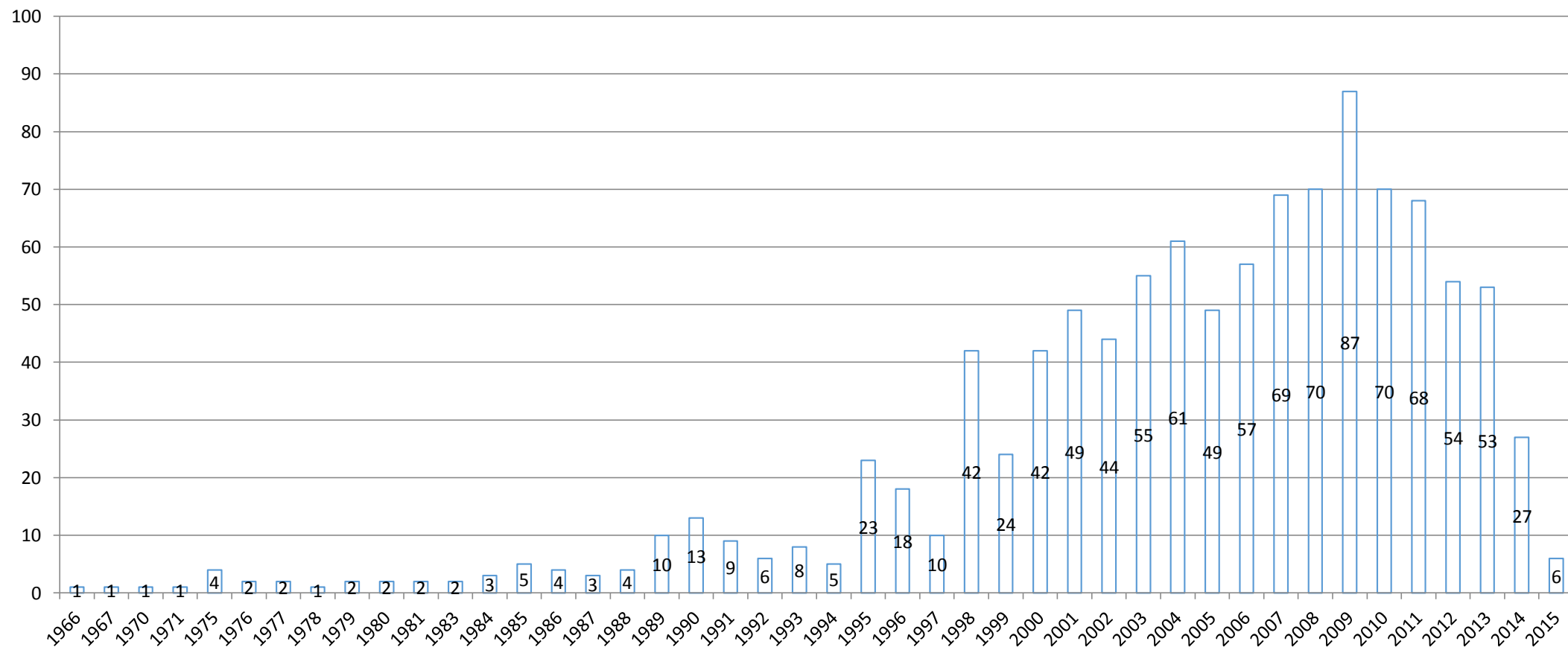


同じ被害を訴え
ていることから
世界的規模の
組織犯罪

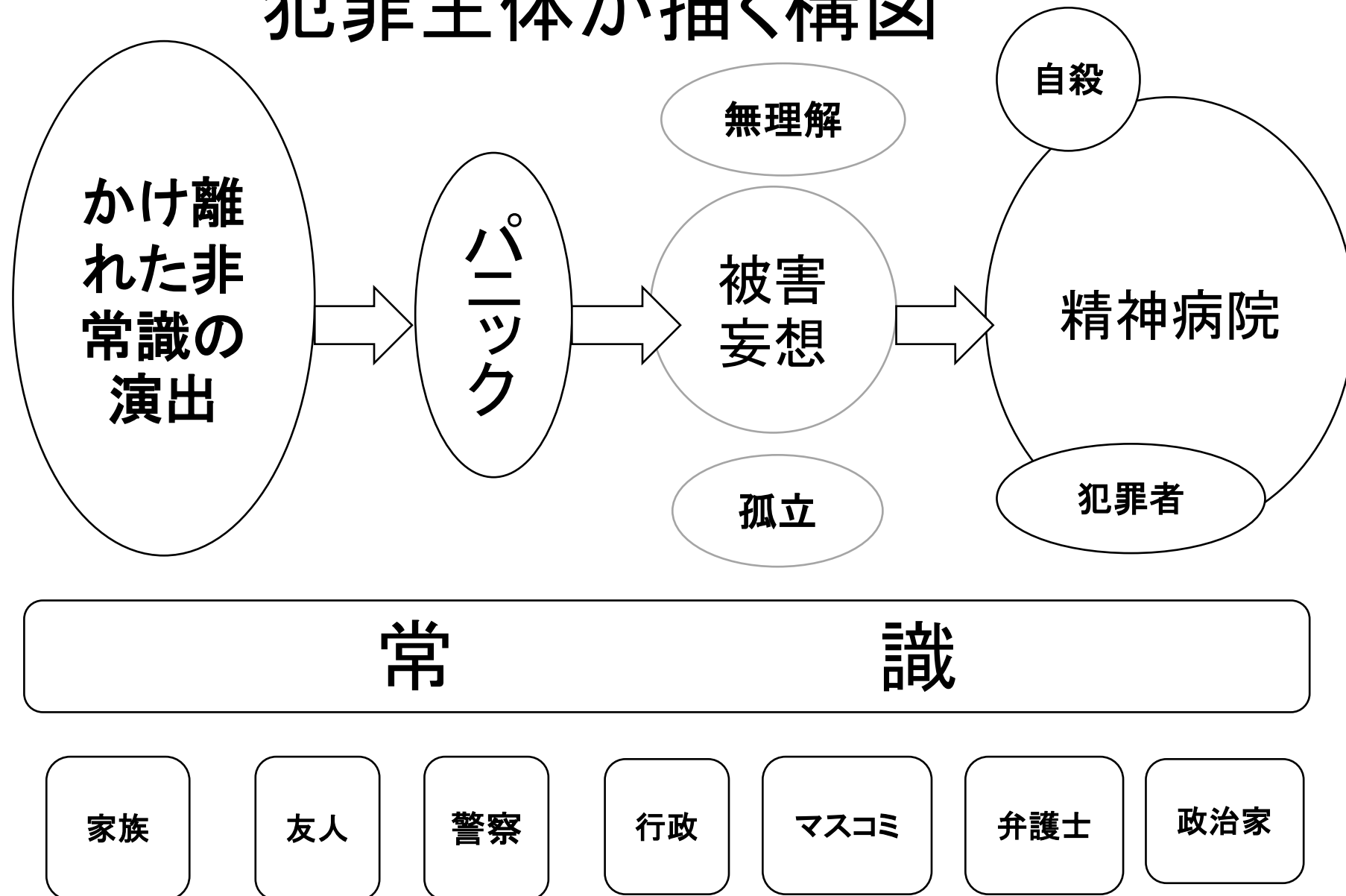
嫌がらせ犯罪被害の特徴⑩歴史性

被害を初めて認識した時点は？

嫌がらせ犯罪被害認識年度 1400名



犯罪主体が描く構図



3大社会問題との合致＝世相を演出

嫌がらせ犯罪が結果するもの

自殺

精神病院への収容

自己防衛的対処

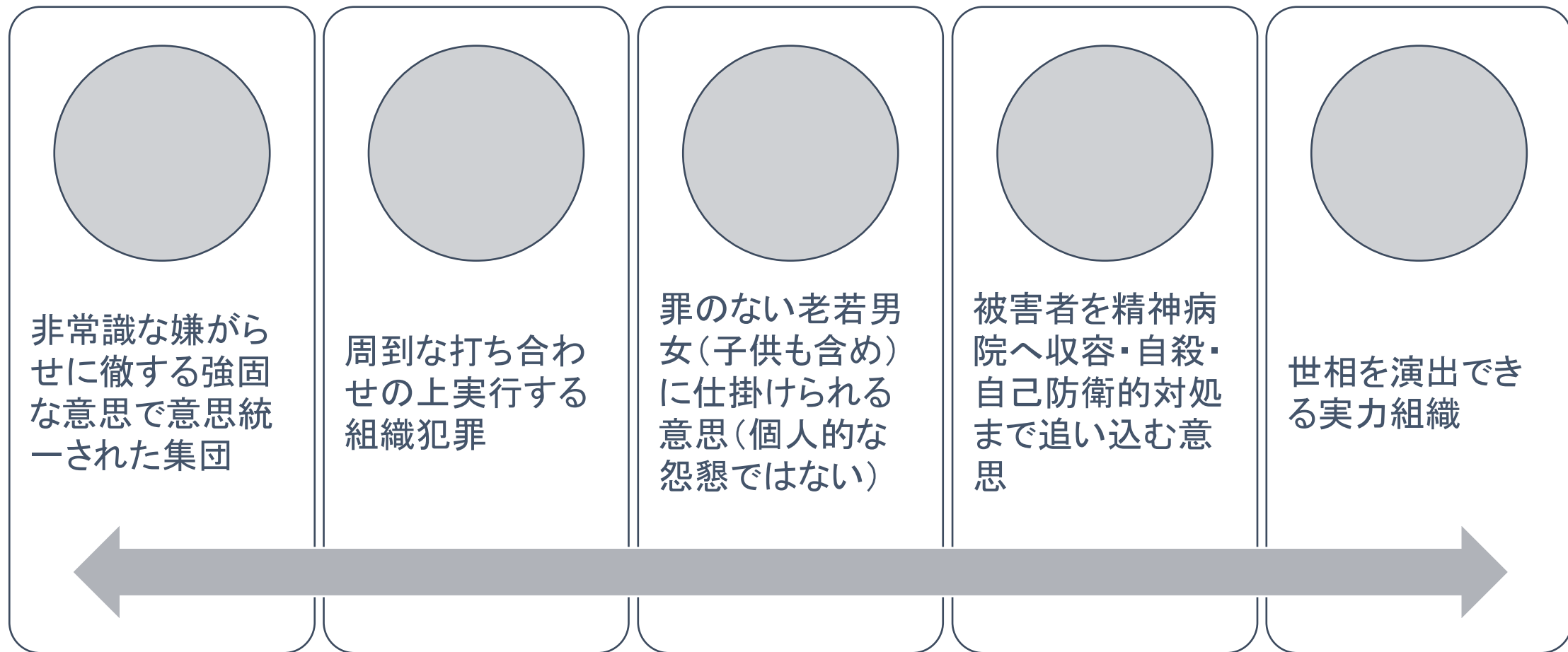
3大社会問題

自殺者の増加（自殺者
中約3割が精神疾患患者）

精神疾患患者の増加
（320万人超、1兆800
0億円の予算）

信じ難い凶悪犯罪の増加

嫌がらせ犯罪主体及び実行部隊像



元CIA・イスラエルモサド秘密諜報部員 カール・クラーク氏

Secret Surveillance
and Electromagnetic
Torture by the Secret
Services



ターゲットに対する諜報活動 (元諜報部員:カール・クラーク氏証言)

ターゲットを探るために盗聴実施

ターゲットを混乱・欺くために、密かに住宅に侵入し、物を失くす、物を移動させる、コンピューターからデータを削除。

尾行し、鉄道の駅やバス停留所などで近くに現われ、頭をおかしくさせることもやりました。その他に、ターゲットの視野に確実に入る場所でけんかを演出し、他の多くの騒ぎを起こしました。

ターゲットへのさらなるプレッシャーあるいは連行という指令を受けた場合、幼児ポルノや爆弾の製造方法などのデータを、コンピューターに忍び込ませました。

レーダーによる追跡

(元諜報部員:カール・クラーク氏証言)

ターゲットはレーダー、衛星、基地局、無料のコンピュータプログラムで、どこに居ても追跡できます。ターゲットの近くに3台のレーダー装置が配備されることもありました。このレーダーからマイクロ波が発信され、その一部がターゲットを捕捉し、結果が評価されます。特殊部門に所属していた私の同僚は、コンピュータでターゲットを終日追跡することができました。

ミサイル迎撃用レーダーシステム
の人間への応用

レーダー追跡とマイクロ波兵器による攻撃 (元諜報部員:カール・クラーク氏証言)

このような形でターゲットの位置を特定することにより、マイクロ波兵器を簡単に正確に配備することができたのです。同僚は標的を正確に把握し、ターゲットがどのように反応するかを観察できました。

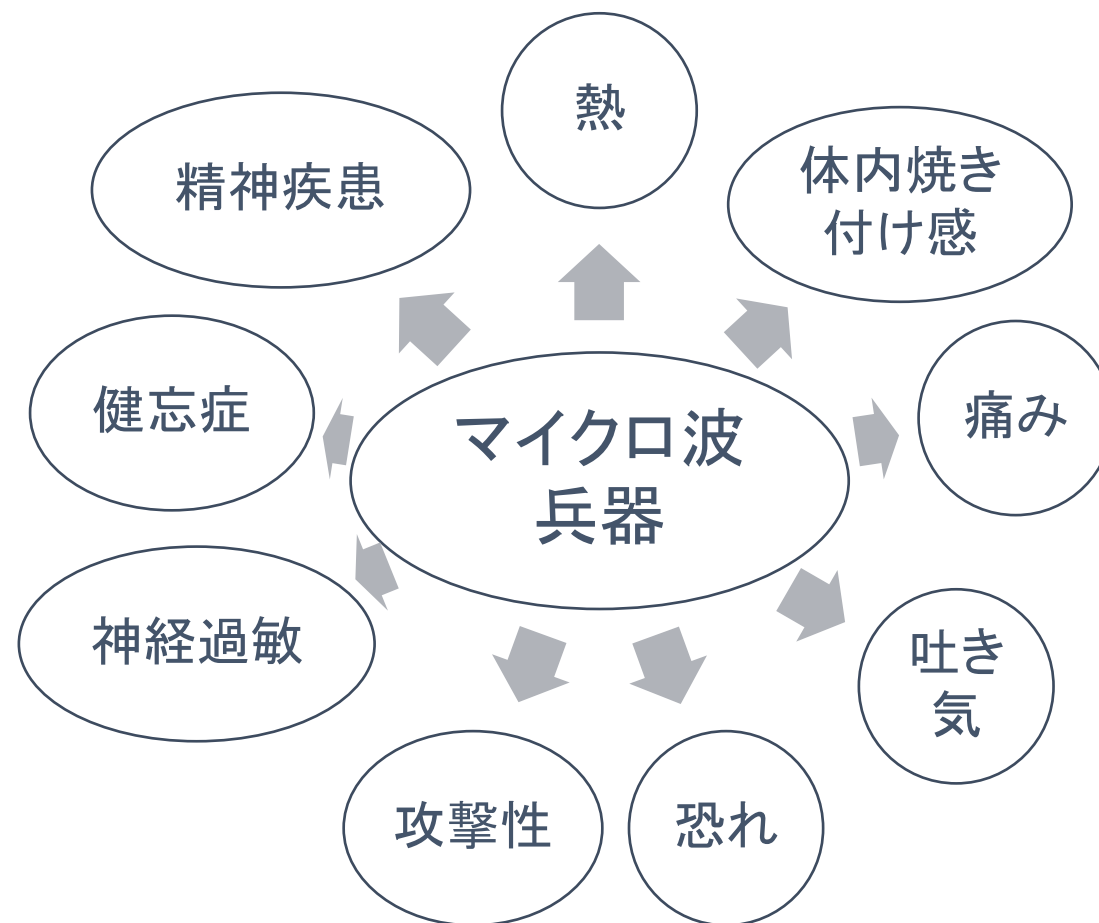
嫌がらせ犯罪は工作員活動としてある可能性？

日本はスパイ天国と言われている国

工作員組織網の存在？
工作員対策法の必要性！

マイクロ波兵器の生体効果(16年前の証言)

元CIA・イスラエルモサド諜報部員カール・クラーク氏証言



暴力団（ヤクザ組織）

『ヤクザ』デイビット・E・カプラン、アレック・デュプロ著



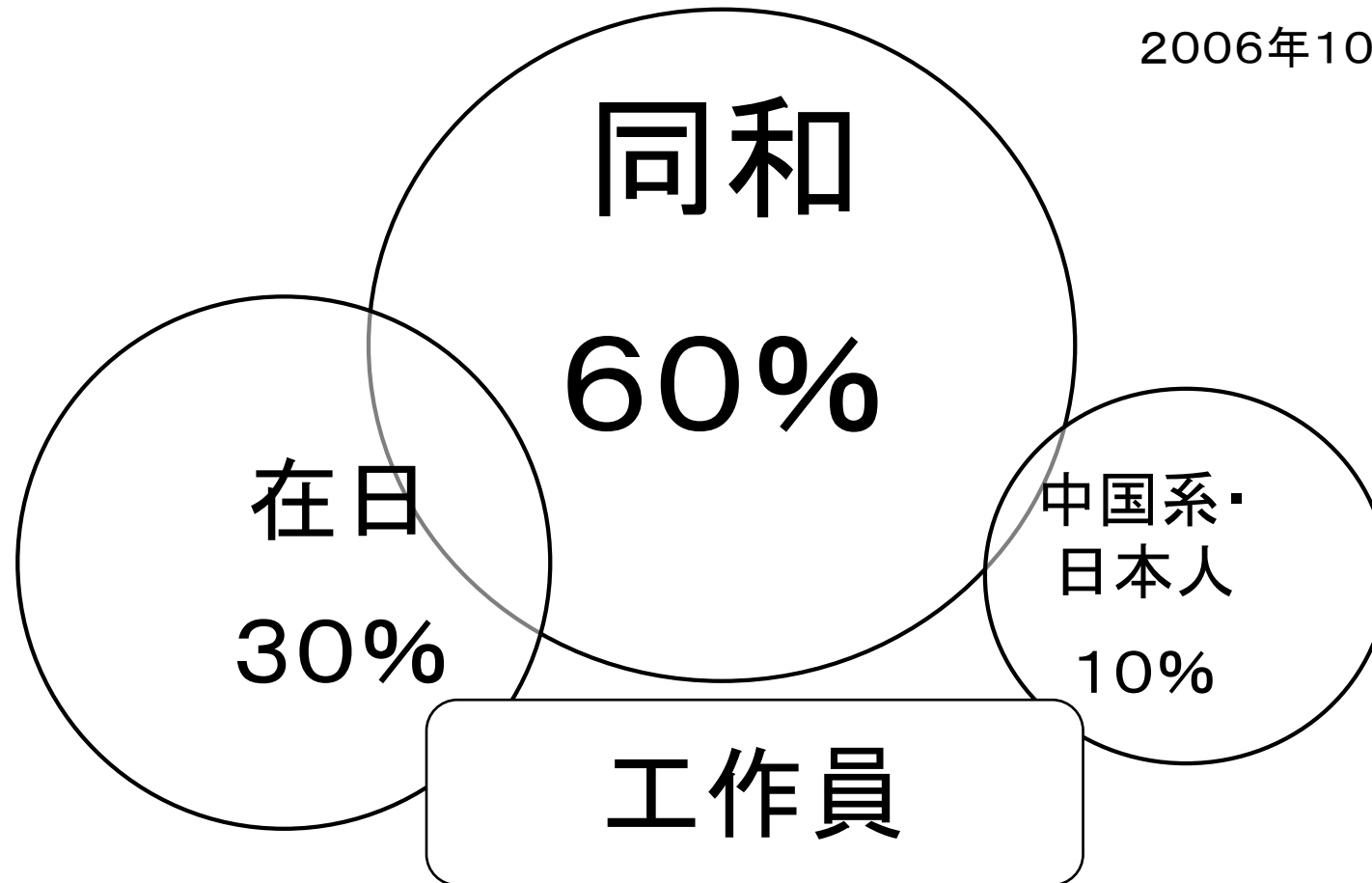
1991年4月10日発行
第三書館刊

- GHQ民政局次長ケーディス大佐「最小の村落から国政の中枢部にまで及ぶ、巨大な地下組織」警告。
- 対共産主義の名目でヤクザ組織を利用した。
- 日本の政治家も治安対策にヤクザを利用した。

暴力団の構成

元公安調査庁調査第二部長菅沼光弘氏外国人特派員協会での講演

2006年10月19日



元FBI特別捜査官テッド・ガンダーソン氏



マニュアル性の元にたどり着く可能性？

元FBI特別捜査官テッド・ガンダーソン氏証言

私はキース・ラベラ氏のFBIおよび司法省に対する訴訟の訴状を読みました。

専門家の意見として、私は情報、知識および信念に基づき、当該情報公開法訴訟においてラベラ氏が収集した「ギャングストーキング行為」、「ギャングストーキンググループ」および「ギャングストーキングの手段」に関する情報は、今日全国的に継続して実施されており、また私の調査および経験によれば少なくとも1980年代前半から実施されている隠密のプログラムを合理的に説明するものであると考えます。

ギャングストーカーの資金源

元FBI特別捜査官テッド・ガンダーソン氏証言

情報源

情報部〔FBI、中央情報局（CIA）、国家安全保障局（NSA）、軍情報部等〕の現役メンバーや元メンバー、犯罪集団内で活動中の情報提供者からの情報、被害者の証言を含む調査。

結論

何千人もの被害者が、米国内で1日24時間活動が続ける違法な政府系の悪徳犯罪集団の標的にされているという結論に達した。

資金源

麻薬、売春、児童誘拐（闇オークションにて子供一人当たり最大5万ドルで売却）、人身売買、ギャンブルその他の密売といった非合法的活動で賄われている。

ギャングストーキング新技術採用

元FBI捜査官テッド・ガンダーソン氏証言

1980年代以降、ギャングストーキング行為は新たな通信・監視技術を利用し、その規模や激しさ、複雑さを増してきました。

エシュロンプログラム

カーニーボアシテム

テンペストプログラム

1980年代からギャングストーリーキングに使われている手段 元FBI特別捜査官テッド・ガンダーソン氏証言

エシュロン・プログラム：メリーランド州フォートミードの国家安全保障局の管理下にあり、世界中の全ての電子メールや電話の通話を監視。（日本では三沢基地）

カーニボア・システム：メリーランド州フォートミードの国家安全保障局の管理下にあり、痕跡を残すなど所有者に知られることなく、あらゆるコンピュータシステムをダウンロードすることが可能。

テンペスト・システム：最大で4分の1マイル（約400m）離れたところにあるコンピュータ画面上にあるものを解読することができる。

- **これらのプログラムは何千人ものアメリカ国民にマイナスの影響を及ぼし、彼らの市民権を日常的に著しく侵害している。**

ギャングストーキング対象者の被害内容

元FBI捜査官テッド・ガンダーソン氏証言

違法かつ違憲な
電話の盗聴

仕事や私用の電話の
違法な転送による
嫌がらせ

盗聴器を使用した
違法な盗聴

住居や事務所への不法
侵入及び車上荒らし

小型の遠隔無線カメラ
(インターネット経由でア
クセス可能な場合が多
い)の違法な設置による
住居内監視

違法なインターネット・ス
パイウェア、違法なGPS
追跡(自身の携帯電話
による場合が多い)

定期的な定点と
移動監視

郵便物の宛先間違い
郵便物の盗取やいたず
ら

金融・雇用上妨害行為
名誉を毀損する運動

コミュニティからの排斥

インターネットで嘘の
情報の流布

組織的な中傷

毒の投与・暴力・殺人・
麻薬絡みの罪やその他
重罪の違法でっち上げ

その他さまざまな
市民権の侵害

ギャングストーカーの正体

元FBI特別捜査官テッド・ガンダーソン氏証言

FBIその他情報機関・政府機関全般の幹部・犯罪組織の裕福かつ有力な構成員・億万長者や企業エリート

- これらが政府系ギャングストーキングプログラムを利用して、敵対者を攻撃しています。(FBIその他の情報機関や政府機関全般で働いているほとんどの個人は正直であり、法を順守する公僕であると固く信じています。しかしながら、悪徳工作員のネットワークはFBIやCIAなどの情報機関、その他重要な官職に秘密裏に潜入しています。この悪玉は個人的な権力や富を追い求めており、自分たち自身を法や憲法より上の存在だと考えています。彼らは、組織犯罪、悪魔崇拝カルトなどアメリカ国内のカルト運動、その他商業的・政治的権益、誤り導かれた市民組織や近隣集団と共に前述の監視や嫌がらせを実行します。)

ギャング・ストーカーの上下関係

元FBI捜査官テッド・ガンダーソン氏証言

ギャングストーキングの陰謀では、立場のより高いメンバーがギャングストーキング行為を開始し、補給や資金供給を調整します。

プログラムにより標的にされた個人の日々の監視や嫌がらせといった実際の単調な仕事は、下位レベルの政府機関の悪徳工作員、軍の下位階級のメンバー（民警団法違反）、軽犯罪者および暴漢が実行しています。

彼らは標的となった個人が死ぬまでずっと嫌がらせを受けるようにすることができます（10年以上続く事例は一般的です）。

ギャング・ストーカーの組織

元FBI捜査官テッド・ガンダーソン氏の証言

年中無休で活動している指令本部が米国内に存在し、その出張所も複数ある。

その管理者たちは国内の誰に対しても即座に監視や電話の盗聴、嫌がらせを開始できる。

彼らには、違法な監視や嫌がらせを、昼夜を問わずいつでも、誰にでも行える技術、資金、人的資源がある。

現在何千人ものアメリカ人に対して実行されている計画的かつ違法な政府による嫌がらせについて、数多くの事例が記載されたファイルを所持している。

ギャングストーリーキングの証拠

元FBI捜査官テッド・ガンダーソン氏の証言

ギャングストーリーキングの事実は、FBIと国家安全保障局の両方で、エシュロン・プログラム、カーニボア・システム、テンペスト・システムに関する記録に記載されている。

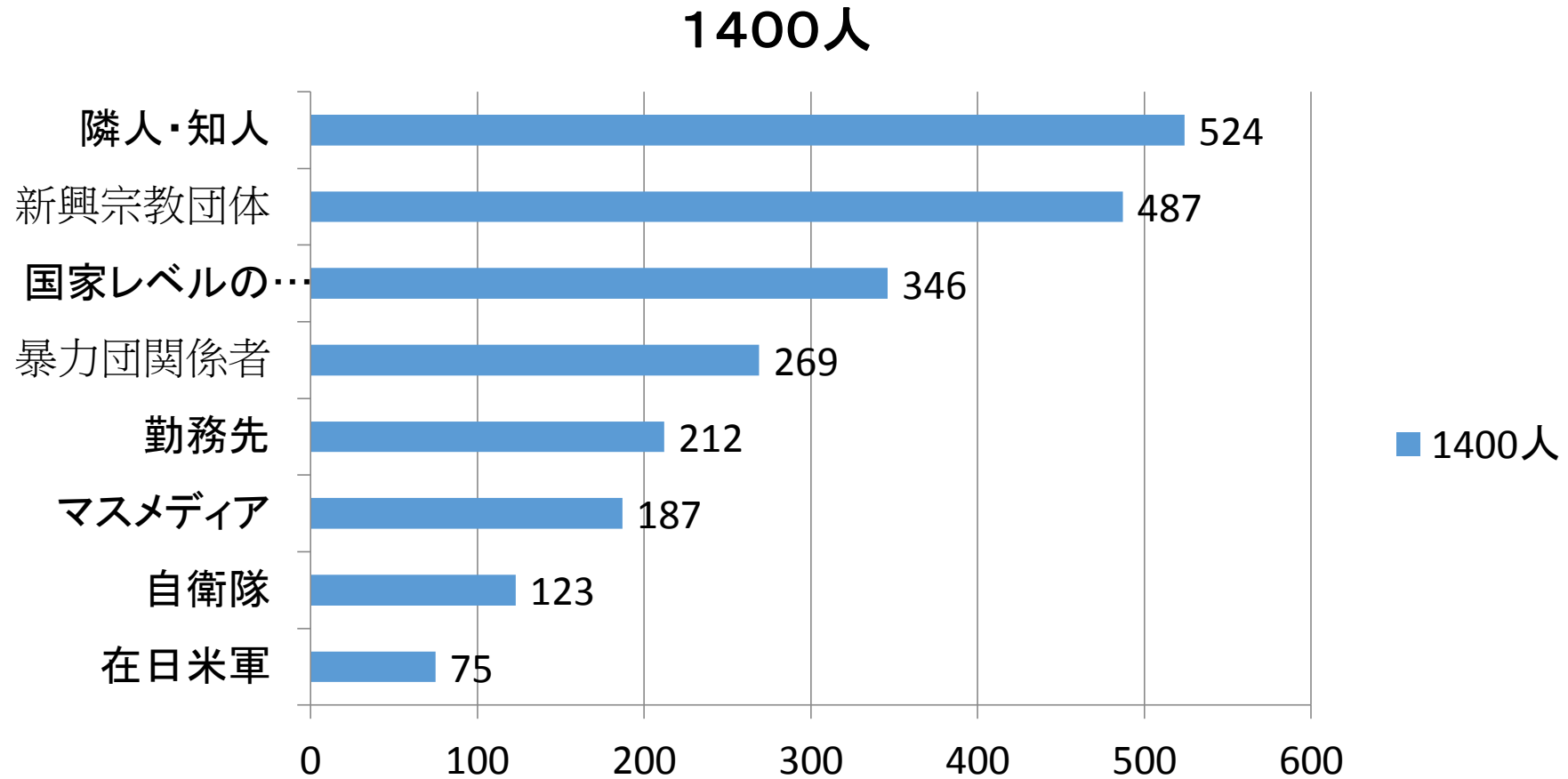
ギャングストーリーキングの事実はFBIと国家安全保障局の両方で、ナルス社のシステムにより収集された情報に関する記録に記載されている。

- (ナルス社は防衛請負業者であるボーイング社の完全子会社であり、ボーイング社はFBIおよび国家安全保障局が現在使用している高度な大量監視コンピュータシステムを製造している会社。)

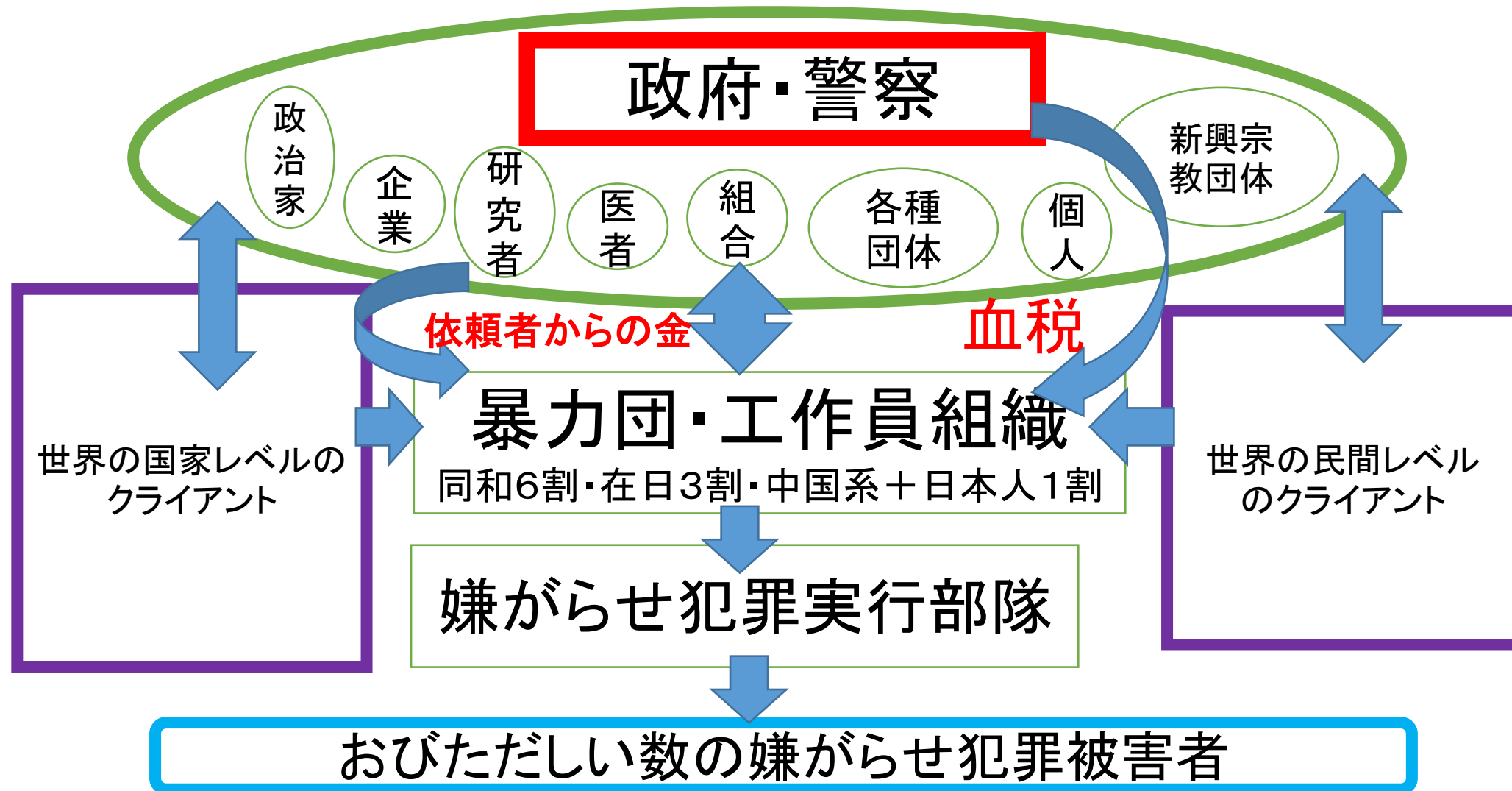
嫌がらせ犯罪主体の追究

1. カール・クラーク氏証言から工作員の可能性
2. 日本社会に深く根差している暴力団（やくざ）との関係
3. テッド・ガンダーソン氏証言から米国政府系悪徳犯罪集団の影響
4. 官製犯罪の可能性
5. 新興宗教団体との関係

犯罪主体は？



嫌がらせ犯罪主体とその恩恵に浴する輩



なぜあたたが？ではなく国民全体！

いつでも・だれでも対象に
できるようになっている！

日本の完全破壊・絶対支配

世相の演出：自殺者の増加・精神疾患
患者の増加・凶悪犯罪の増加

実行部隊の維持：絶え
ず訓練を積む必要あり

権利は銃剣をもって守られるべきもの

法治国家：憲法が最高法としてある

すべての国民に基本的人権を保障している！
幸せに生きる権利を保障している！

権利は銃剣をもって守られるもの

政府は使命を果たすべきである！！
速やかなる法整備（組織的嫌がらせ犯罪防止法）と執行

第二部

被害者証言（ビデオでの紹介）

第三部

テクノロジー犯罪の実態

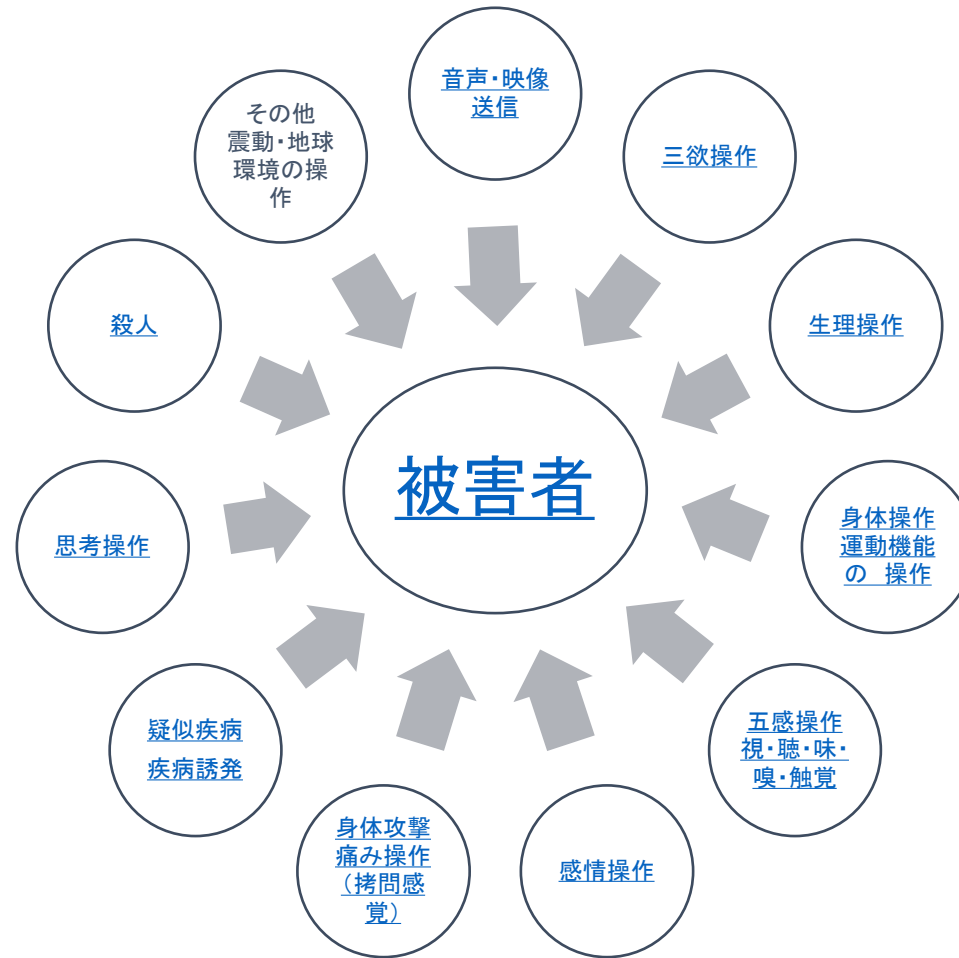
テクノロジー犯罪被害

(アンケートでの質問) 1,400名対象

声が聞こえる 音が聞こえる 映像が見える 考えが読まれている
意識への介入 脳活動の抑制活発化 不自然な夢 精神を侵される不安
過食・粗食 性的興奮 精力減退 不眠 睡眠妨害 睡魔 躁(そう) 鬱
(うつ) 恐怖心・不安感の増幅 猜疑心の高揚 抑えられない衝動
憎しみの増幅 神経質化 無気力 目がズームのようになる 目が見えな
くなる 耳が聞こえなくなる 遠くの声が聞こえる 臭覚が失われる 異臭
がする 味覚が失われる 食後口内違和感 陰部触手感 陰部挿入感
肛門挿入感 頭の締め付け・痺れ・痛み 頭が柔らかいもので覆われた感じ
頭の中にインプラントされているような違和感 極度の疲労 電気が体
を走った感覚 便秘 下痢 尿失禁 便失禁 肛門の弛緩 排泄不良等排
泄機能の操作 からだの筋肉が意識に反して動く 脱力感 体臭の発生
ガスの発生 多汗 脈拍の急変 不自然な(食あたり・酒酔い・乗り物酔い・
風邪症状ー咳 クシャミ 鼻炎等) やけど 周囲の震動 体の震動 金縛り
体のチック(ピチピチ)感 心臓等内臓の痛み 性器の痛み 体を突き抜ける痛み
眼球の裏が焼かれた感覚 異様な空気 空気の弾による衝撃痛 失神

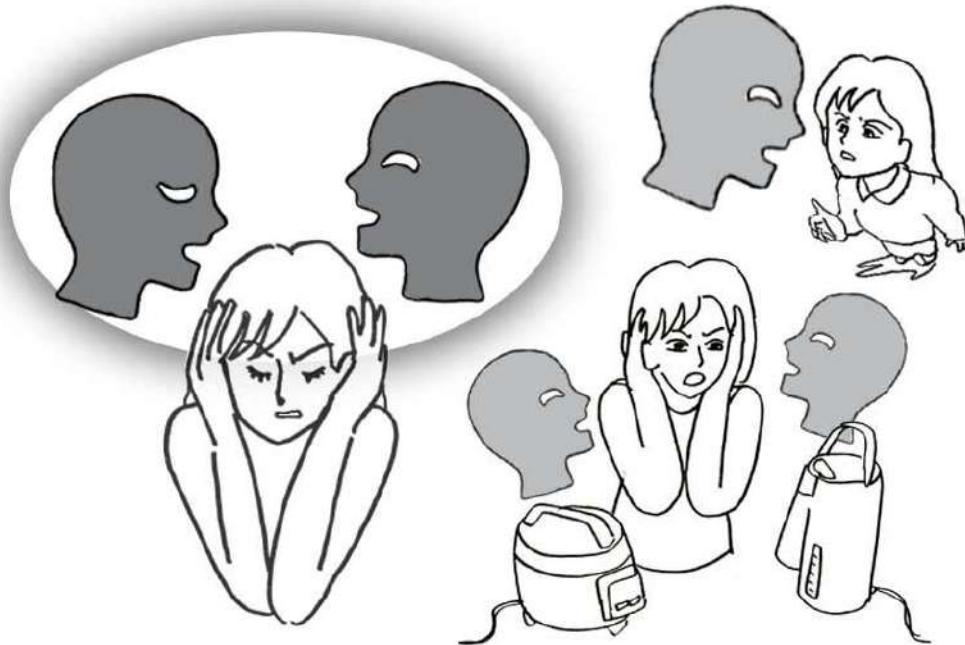
テクノロジー犯罪被害の区分け

人間コントロール・テクノロジーの悪用



1. 音声・映像送信被害

周囲に誰もいない



周囲に音源見当たらない



1993年
恫喝「こら！」

上空から
人工衛星利用？

1994年～
1995年
監視・護衛

映像送信被害

つきまとい
ストーキング

敵と味方

監視・実況
中継・おだて

監視・状
況把握・
映像送信

1995年～1996年
当時で18年前の出
来事の解説、今から
38年前

38年前には個
人生活の記録
が始まっていた

1. 音声・映像送信被害

つきまとい
(ストーキング)

音声送信被害

声被害 834名60%

音被害 911名65%

頭の中・空間・家電

周囲に誰もいない、音源らしきものなし

四六時中

呼び掛け・ほめごろし・他愛もないこと・
誹謗・中傷・命令・脅迫・個人情報

映像送信被害

映像被害 453名約32%

頭の中

周囲に映像の対象物なし

四六時中 起きているときでも
就寝中の不自然な夢44%

行動監視・意思が100%伝わる・

音声送信
技術

幻聴

統合失調症

幻覚

映像送信
技術

2. 三欲が遠隔から操作される

つきまとい・ストーキング

睡眠欲操作

- 睡眠妨害68%・不眠41% (覚醒技術)
- 睡魔39% (ナルコレプシー1/1000人)

食欲操作

- 過食21% 肥満
- 粗食15% 成長阻害

性欲操作

- 性的興奮20% 6.6Hz男性
- 精力減退18% 人口抑制

三欲操作技術

3. 生理機能が遠隔から操作される

つきまとい・ストーキング

個人の体質の
人為的演出

生来の
体質

生理機能操作技術

失禁
尿失禁14%
便失禁7%

発汗
多汗20%

排泄物
操作

つきまとう
ストーキング

個々人の体質を
決定付けている
人間の存在

体臭13%
口臭

ガス発生
26%

それを請け負う
コントローラーが
働く部署の存在

自分の体が自分のものでない時代

排泄機能の操作



つきまとい・ストーキング

- 便意・尿意
- 排泄にかかわる筋肉の動き
22%
- 肛門の弛緩12%
- 便の状態・臭い



生理機能操作技術

4. 身体・運動機能が遠隔から操作される

つきまとい・ストーキング

意識に反して手・足・首・皮膚が動く 38%

排泄に関わる筋肉を含めて全ての筋肉の操作

筋肉の硬化・体が硬くなる・コブラ返り

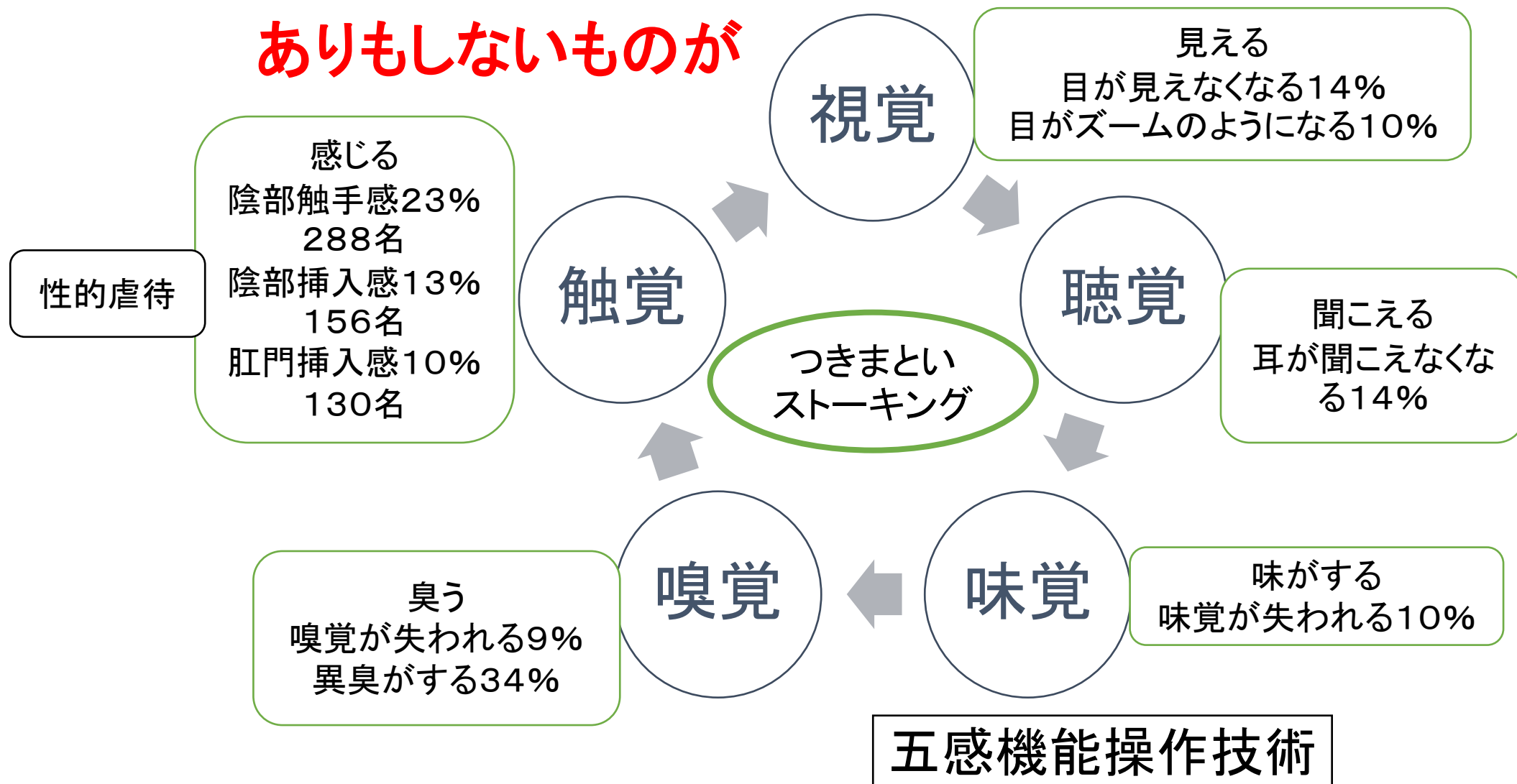
重圧・金縛り14%

運動機能の低下・向上:試合を左右できる:薬に代わるドーピング問題、国際的賭博組織の関与

身体・運動機能操作技術

5. 五感が遠隔から操作される

ありもしないものが



6. 感情が遠隔から操作される

(狭義のマインドコントロール)

つきまとう・ストーキング

恐怖心不安感
の増幅 50%

精神を侵される
不安 40%

極度の疲労感
40%

神経質化
37%

無気力
37%

憎しみの増幅
35%

猜疑心の高揚
34%

明るい気分(躁)
13% 暗い気
分(鬱)26%

抑えられない
衝動 21%

喜怒哀楽
恋愛感

赤面

感情操作技術

7. 身体が遠隔から攻撃される

つきまとい(ストーキング)/単発的

頭部締め付け・
痺れ・痛み
768名54%

心臓等内臓の
痛み
683名48%

電気が体を
走った感覚
631名45%

体の震動
522名37%

体のチック感・
ピチピチ感
493名35%

陰部を撃たれ
た感覚
318名22%

体を突き抜ける
痛み
318名22%

空気の弾によ
る攻撃
250名17%

目の裏が焼か
れる感覚
197名14%

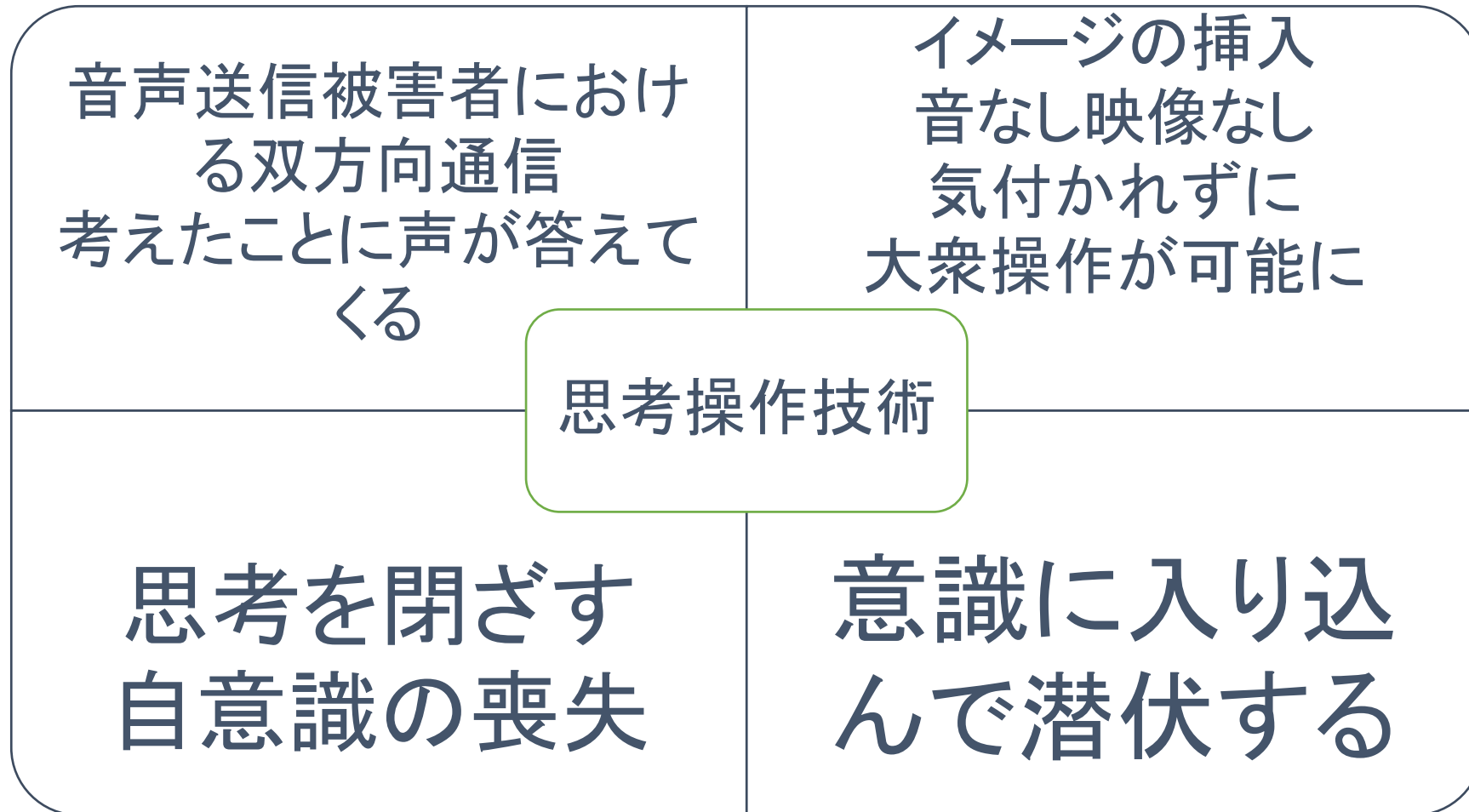
バーチャル
拷問感
若干名

身体攻撃技術

8. 思考が遠隔から操作される・意識に介入される

考えが読まれている969名69%

つきまとい・ストーキング



9. 疑似疾病・疾病誘発

病気ではないのにそれと同じ症状に襲われる/本当の病気を誘発される

風邪症状

血圧操作

乗物酔い

嘔吐

切り傷

やけど

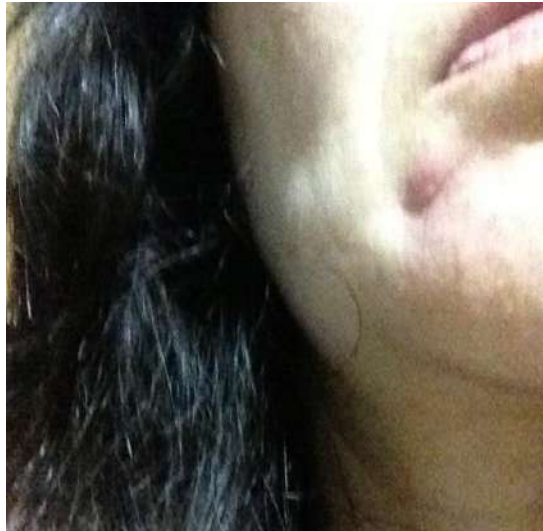
めまい

健忘症

光過敏性発作: 米国陸軍省公開した『特定の非殺傷兵器による生体効果』15Hz・[ポケモン事件指摘\(16Hz弱\)](#)

疾病誘発技術: 精神疾患・癌・心臓発作(元英国海軍所属・マイクロ波の専門家[バリー・トゥロワー氏証言](#))

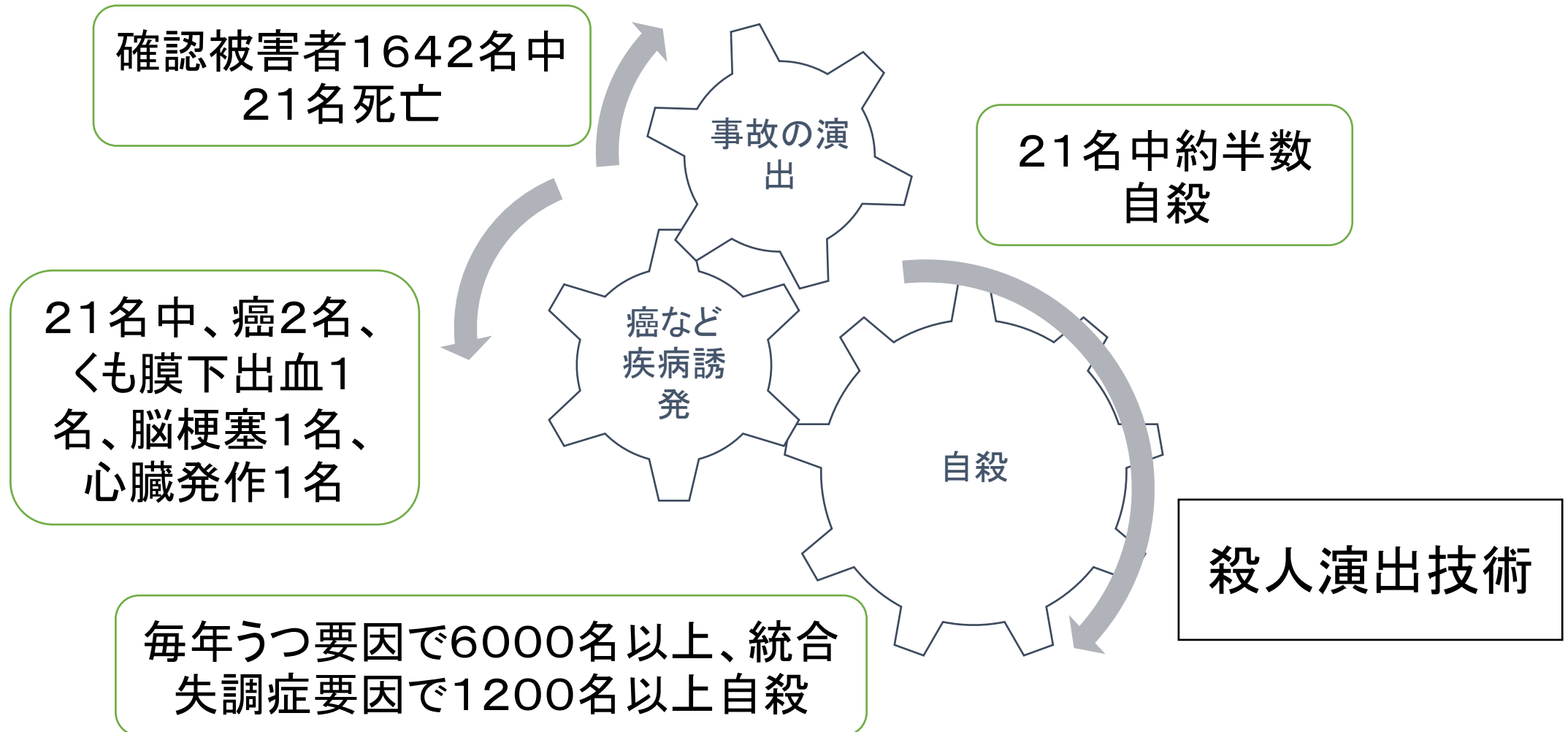
疾病誘発技術: マイクロ波兵器により、熱・体内焼き付け感・痛み・吐き気・恐れ・攻撃性・神経過敏・健忘症・精神疾患を誘発(元諜報部員カール・クラーク氏証言)



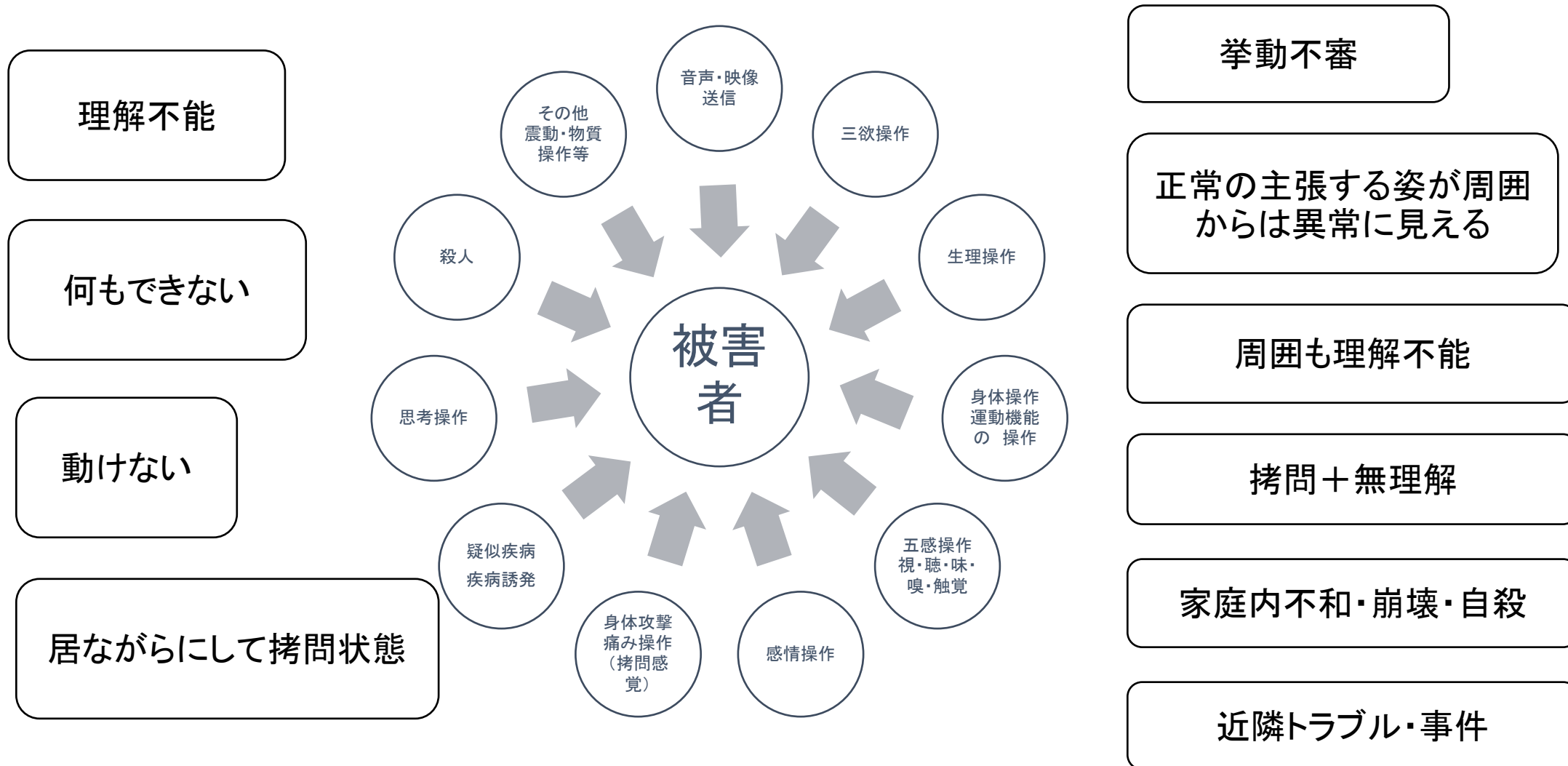




10. 殺人の演出（自殺・病気・事故）



テクノロジー犯罪被害者と周囲の状況



音声送信と被害者の反応

声の言うとおりに動かされてしまう(自傷・他害)

声の主が特定できる場合、その人に会いに行く

助けを求める声で救助に向かう

声で予告してきてその通り痛みが走ることから声への恐怖心が増す

声から逃れようと遠方に移動する・外国に行く

行なっていることに注釈を加えてくることからいらだつ・先を読まれる場合何もしたくなる

声と付き合い依存するようになると、それが途切れた場合何もできなくなる

トイレ・風呂の様子を言われることから電気を消して水着を着て入る

仕事に集中できない・眠れない

音声送信被害から明らかになったテクノロジーの現状？

誰の声も、どのような音も作り出せる

• 音声合成技術

合成音声を特定個人の脳に四六時中送信できる

• 無線送信技術

声の主と会話ができる

• (双方向通信≡脳とコンピュータを無線でつなぐBMI技術・人工知能AIの存在)

五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)が読まれている

• (五感を遠隔から読める≡五感センサー)

行なっていることに注釈を加えてくる

• (行動を把握している≡監視と人工知能AI)

考えたことに対して声が答えてくる(思考盗聴約70%)

• (思考を解読する技術≡脳科学の発展・BMI・人工知能)

音声送信を可能にする技術的背景

(通常の聴覚神経を迂回する方法)

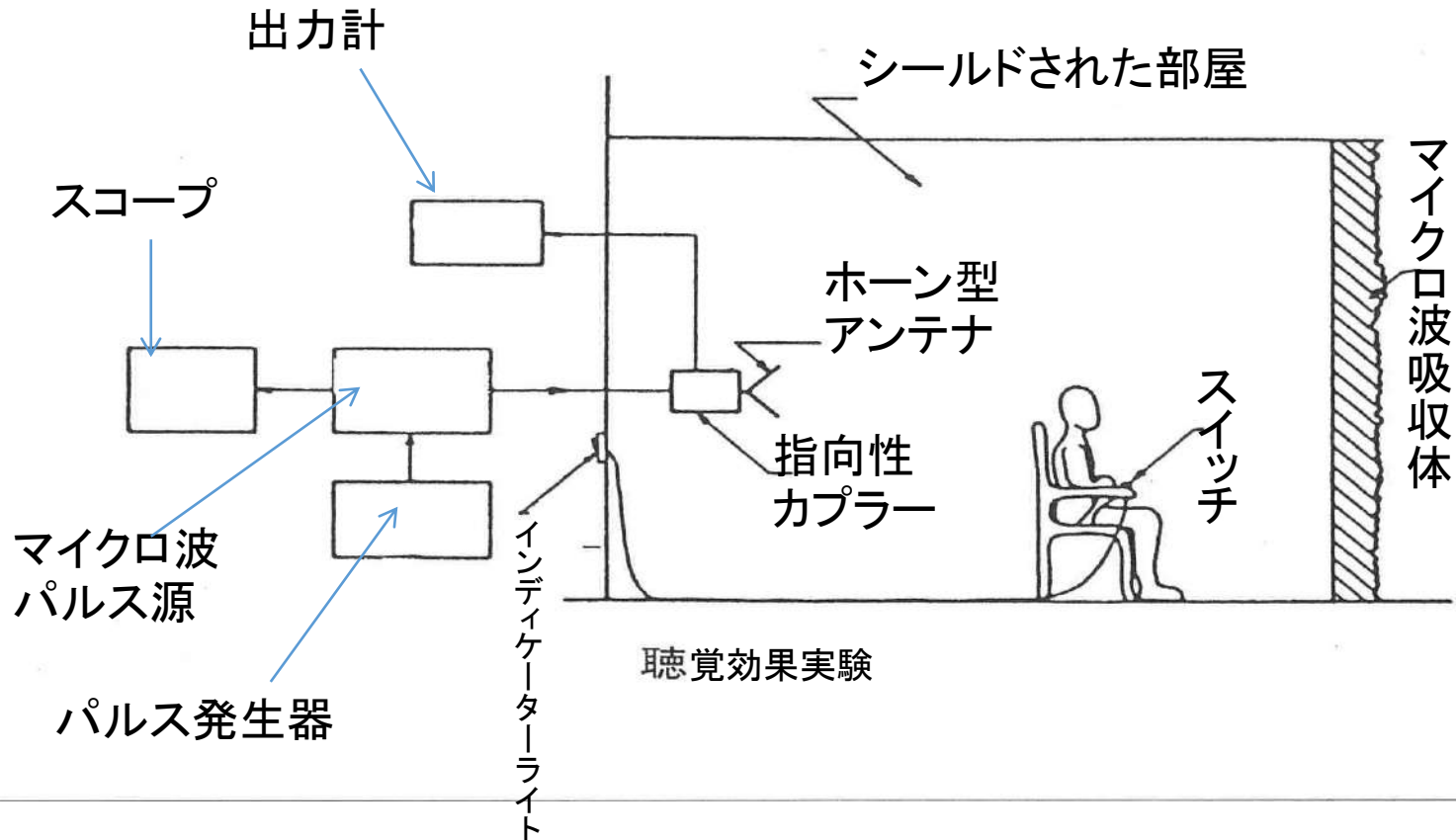
アラン・フレイの論文『変調された電磁波エネルギーに対する人間聴覚システムの反応』“Human auditory system response to modulated electromagnetic energy” Journal of Applied Physiology 17(4): 1962.p689~692
コーネル大学ジェネラル・エレクトリック先進電子センター

論文の目的: 非常に低い出力密度の電磁波エネルギーを使って、普通の人だけでなく耳の聞こえない人にも、音の知覚が誘発されたという、新しい現象に生理学者の注意を向けさせること。

マイクロ波パルスによる聴覚効果実験図

パルス波: ONとOFFが繰り返し
返された状態

ONの状態が続く連続波では音が
聞こえない



フレイ効果（マイクロ波聴覚効果）

音の誘発効果は、発信機のスイッチが入れられるや否やアンテナから200～300フィート（約6m～9m）離れていても誘発され、またそれは搬送波と変調によって変化した。

実験は電磁波エネルギーと音響エネルギーの両者によって誘発される音を重ね合わせるように設定された。

マイクロ波聴覚効果・フレイ効果

1平方センチあたり数マイクロワットという平均出力密度で誘発される他の一時的な現象を発見した。そしてこれらの効果は発信機のスイッチが入れられると自動的に起こった。適当な変調で、様々な音の知覚が、数インチから数千フィート発信機から離れた被験者（普通の人だけでなく耳の聞こえない人にも）に誘発された。

音声以外のフレイ効果

1平方センチあたり数マイクロワットという平均出力密度で誘発される他の一時的な現象を発見した。そしてこれらの効果は発信機のスイッチが入れられると自動的に起こった。—————いくぶん条件設定の異なる発信機では、頭を強く打たれる感覚が、めまいや吐き気のような明かな初期的現象なしに誘発された。再び発信機の条件設定を変化させると、ピンや針で刺された感覚が生じた。

米国陸軍情報保安司令部による情報公開

マイクロ波の聴覚効果を証明

『特定の非殺傷兵器による生体効果』2006年12月13日

可聴音の周波数は高周波エネルギーのパルス特性に依存するため、言葉を送信し、送信された人物の頭部の中に限定されるが、発話された言葉のように可聴される段階まで、この技術を開発することも可能と思われる。

ある実験では、「変調された音声」を使って1～10個の単語を伝達することに成功した。音声を聞かせる人物の隣のマイクロホンは、その音声を拾うことができなかった。さらに発展させた場合、幅広い可能性が開ける。

米国陸軍情報保安司令部による情報公開

マイクロ波聴覚効果を証明

『特定の非殺傷兵器による生体効果』 2006年12月13日

マイクロ波のエネルギーは遠隔から照射できる。既存のレーダー装置で行なうことができる。

照準器入手可能。拘束者に取り囲まれた人質にメッセージを送信する場合は極限の方向特異性が要求される。

現在の技術で遠隔から信号を送信できる(有効射程距離数100メートル)。遠隔になるに従い、また信号の種類が高性能になるに従い、より大型の装置が必要。あるタイプの信号は、人が持ち運べる機器を使用して近距離から送信可能。

音声送信被害(若干の身体攻撃)を生じさせる技術の存在は証明された!

米国陸軍情報保安司令部による情報公開 マイクロ波の聴覚効果の影響

『特定の非殺傷兵器による生体効果』2006年12月13日

聴覚を破壊する以外に、突然「頭の中の声」が聞こえると、心理的な衝撃を受ける可能性がある。

マイクロ波による聴覚技術の応用により、私的なメッセージの送信が可能になる。この技術を認知していない人物を破壊的な状態に陥れる場合に利用できるかもしれない。

テクノロジー犯罪被害者が実証している！

MEDUSA

Mob Excess Deterrent Using Silent Audio (聞こえない音を使った暴徒過熱化抑止兵器: 非殺傷兵器の一種)

MEDUSAは、マイクロ波聴覚効果(フレイ効果)、マイクロ波をパルス波形にして人に照射すると、頭部との相互作用で頭の中から発せられたような音が聞こえる現象を利用したもの。この音は、マイクロ波の照射範囲にいない人には聞こえない。

米Sierra Nevada社のLev Sadovnik博士は低出力での利用でサブリミナル効果も可能とする。

2008年7月8日 Wired News



ADS (Active Denial System)

どこからともなく突然沸き上がってくる「熱」の耐えがたい感覚――米軍当局が発表した電磁波を利用した最新の非殺傷兵器「アクティブ・ディナリアル・システム」の効果。

米海兵隊のトレーシー・タフォラ大佐によると、開発に15年を要したADSの電磁波は強力で有効射程距離は1キロと長いが、非殺傷兵器としては最も人体に影響が少ない。

ADSが照射する95ギガヘルツの電磁波は皮膚の表面から0.4ミリ程度までしか到達しない。

2012年3月15日 AFP BB NEWS



元CIA・イスラエルモサド秘密諜報部員 カール・クラーク氏

Secret Surveillance
and Electromagnetic
Torture by the Secret
Services

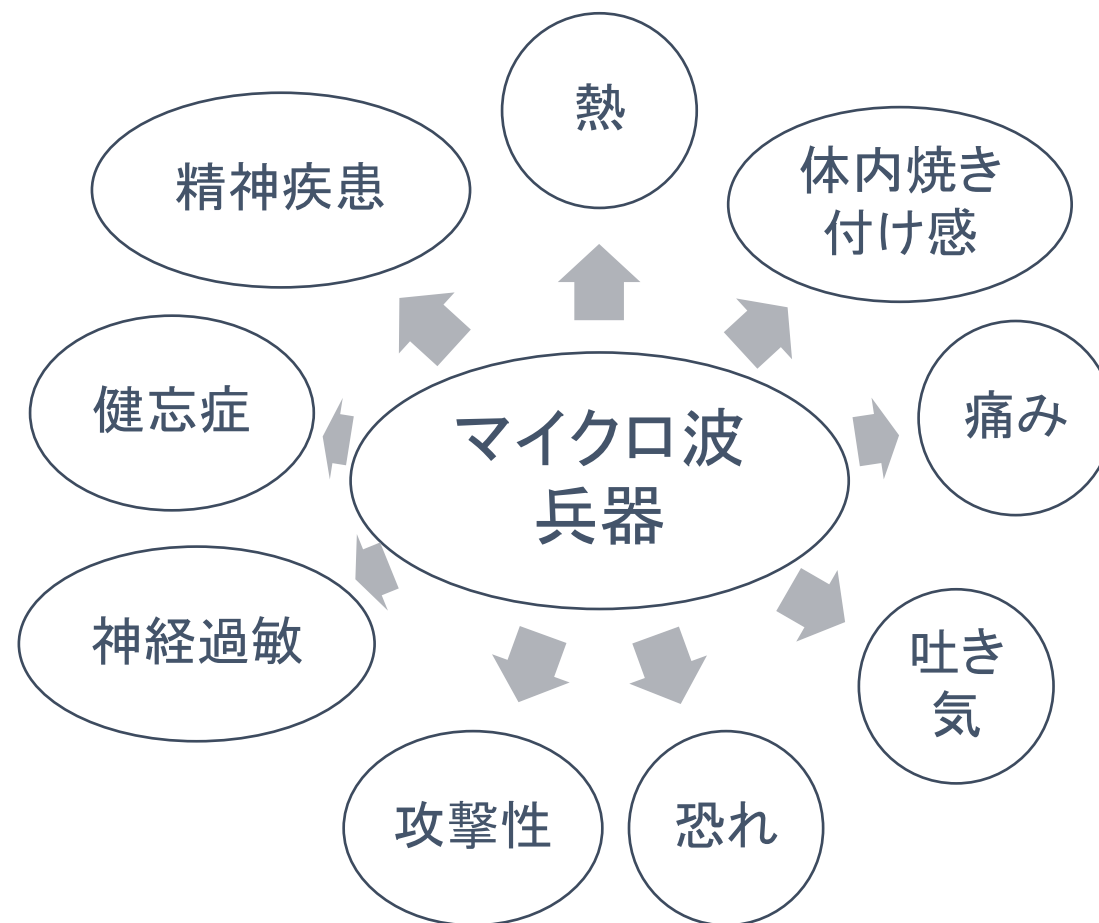


元諜報部員カール・クラーク氏証言

軍事研究の枠内で、高/低周波を通じて身体、心、精神を変化させる大規模な試みが実施されています。この方法で恐れや攻撃性、神経過敏、健忘性を誘発させることが可能です。他の介入手段との組み合わせにより、ターゲットを精神異常に追いやることができます。例えば、ラジオからターゲットの名前が聞こえてきたり、コンピューターに名前が何度も表示されるように、無線周波数を操作することができます。ターゲットの行動についてコメントする音声は、ターゲットにのみ送信されます。私も、朝起床した後、「起きて、誰かを傷付けなさい」という声を聞きました。

マイクロ波兵器の生体効果(16年前の証言)

元CIA・イスラエルモサド諜報部員カール・クラーク氏証言

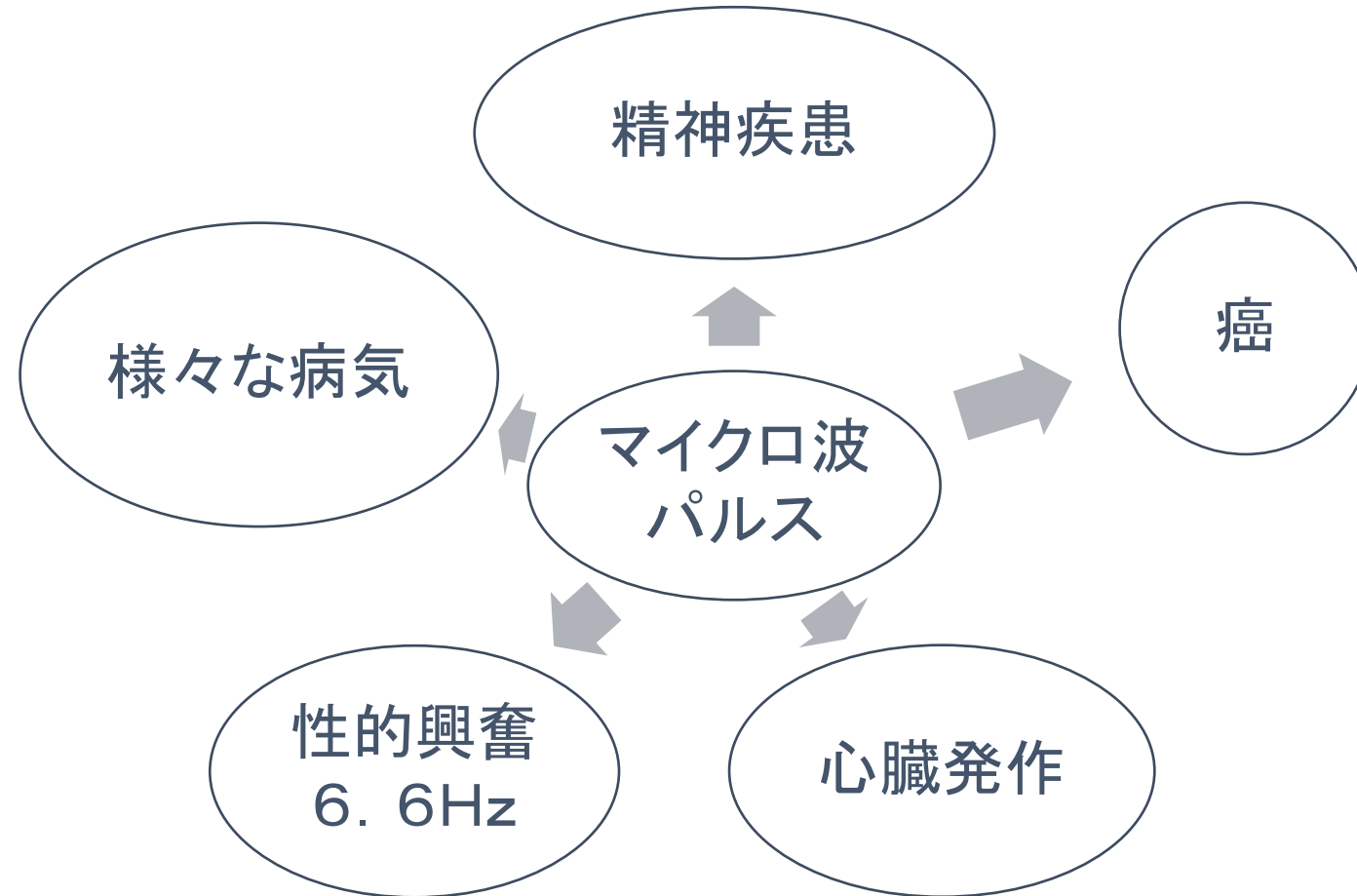


元英国海軍所属・マイクロ波の専門家
バリー・トゥロー氏証言 2010年11月13日



マイクロ波による人体攻撃例

元英国海軍所属・マイクロ波の専門家バリー・トゥロワー氏証言



Microwave Sickness

マイクロ波による病氣リストの存在

政府（英国）のある特別な文書にはひどい精神的不統合も含めてマイクロ波による病氣の全てがリストされています。

我々は「それは軍や軍需産業の効率に影響されるから、また産業界の利益にも影響するから、西側政府から秘密にされる必要がある。」との文書を所持しています。

元英国海軍所属・マイクロ波の専門家 バリー・トゥロワー氏証言

マイクロ波がそれほど完全な武器と知られ、軍にとっては大変危険であることが知られた1950年代、60年代、70年代に遡り、アメリカ国防情報局は西側政府に秘密にするよう促したのです。そして西側諸国はそれに従いました。そしてこれが今でも使われている理由なのです。

我々は政府が資金を拠出して国民の意思に反して実験を行なったことを示す文書を持っています。意思に反してだけでなく、告げることもなしに。

我々は1976年に遡って全ての関連情報を所有しています。全てが1976年までに知られていたのです。我々はそれ以上の証明も、調査も、なにも必要なくなっていたのです。

ポケモン問題・事件？（電磁波テロ？）

1997年12月16日、テレビアニメ「ポケットモンスター」を観ていた視聴者の一部が、激しい赤い光の点滅（16Hz弱）を観て、体調不良を訴え、病院に搬送された事件。

患者の多くは児童で、その数約750人、そのうち135人が入院した。

患者の症状は主に発作様症状、眼・視覚系症状、不定愁訴、不快気分、頭痛や吐き気などで、原因は激しい光の点滅を断続的に見たことによる光過敏性発作とされた。

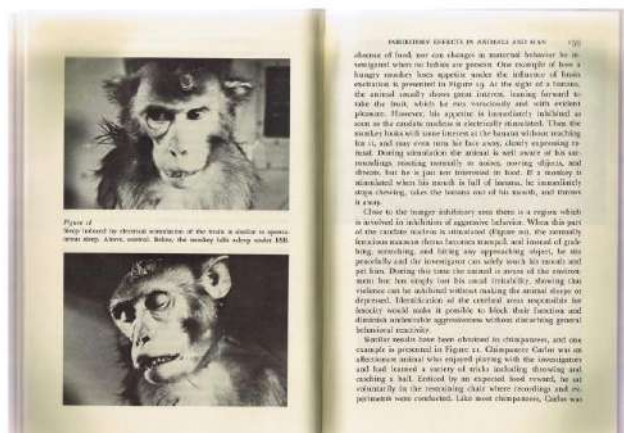
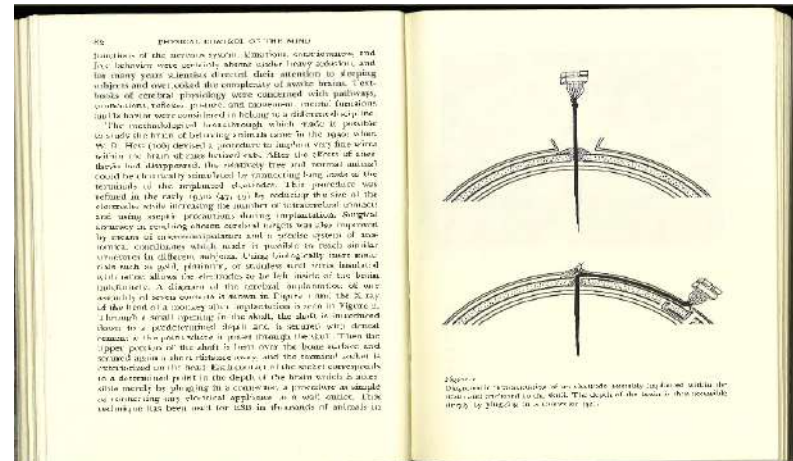
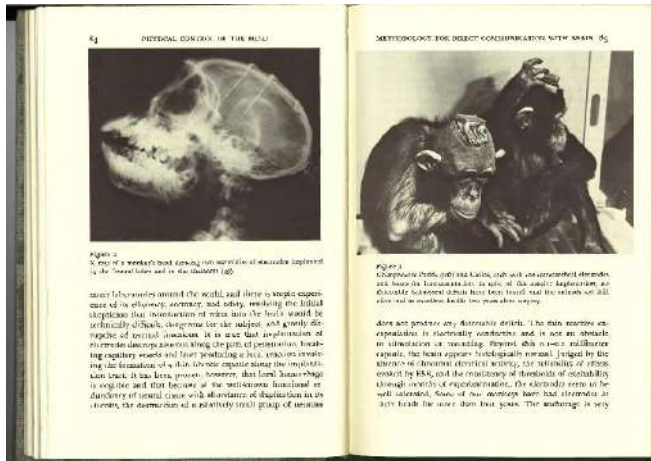
ポケモン事件の教訓 (光＝電磁波の危険性)

16Hz弱の光の激しい点滅が原因：光は電磁波で、電磁波の非熱効果の認識

故意による光の点滅（電磁波を悪用したテロ）の危険性の周知と法整備

ロシア、2001年、「光・マイクロ波・超低周波・超音波」を武器に相当することを認める法成立

コントロール技術の開発・デルガド博士による動物実験 (電極・睡眠欲・食欲・足の動き) “Physical Control of the Mind (心の物理的操作)” 1969年発行

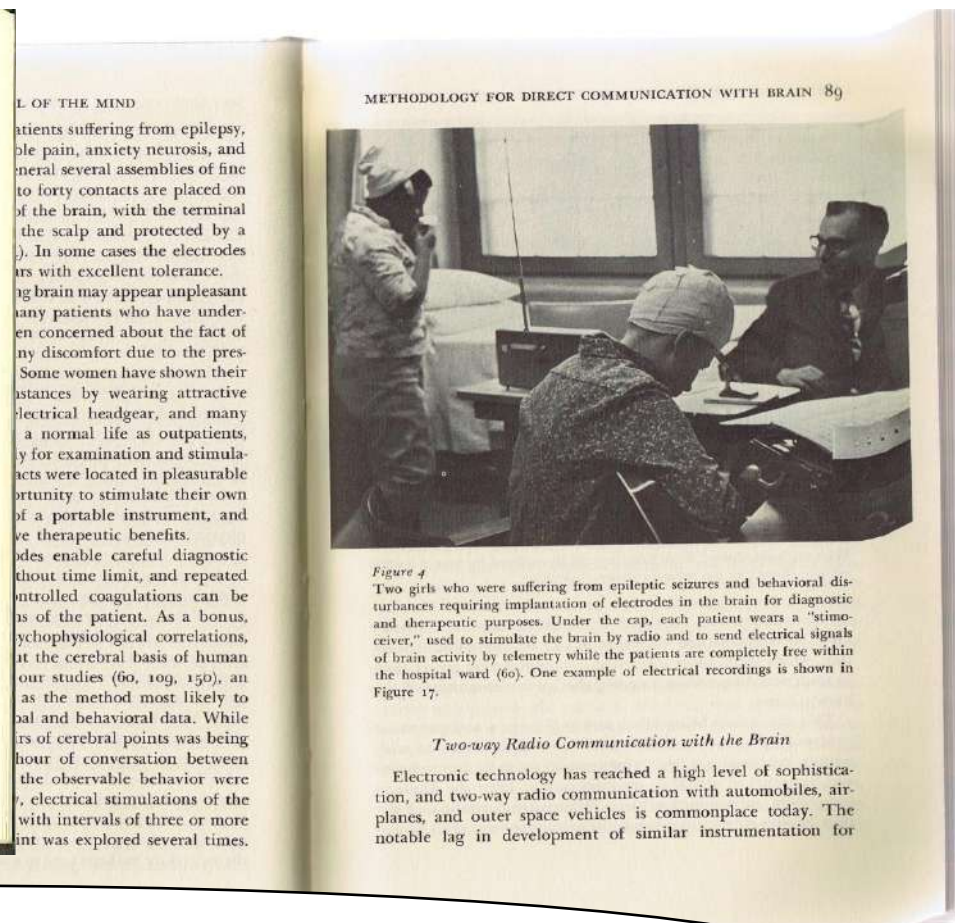
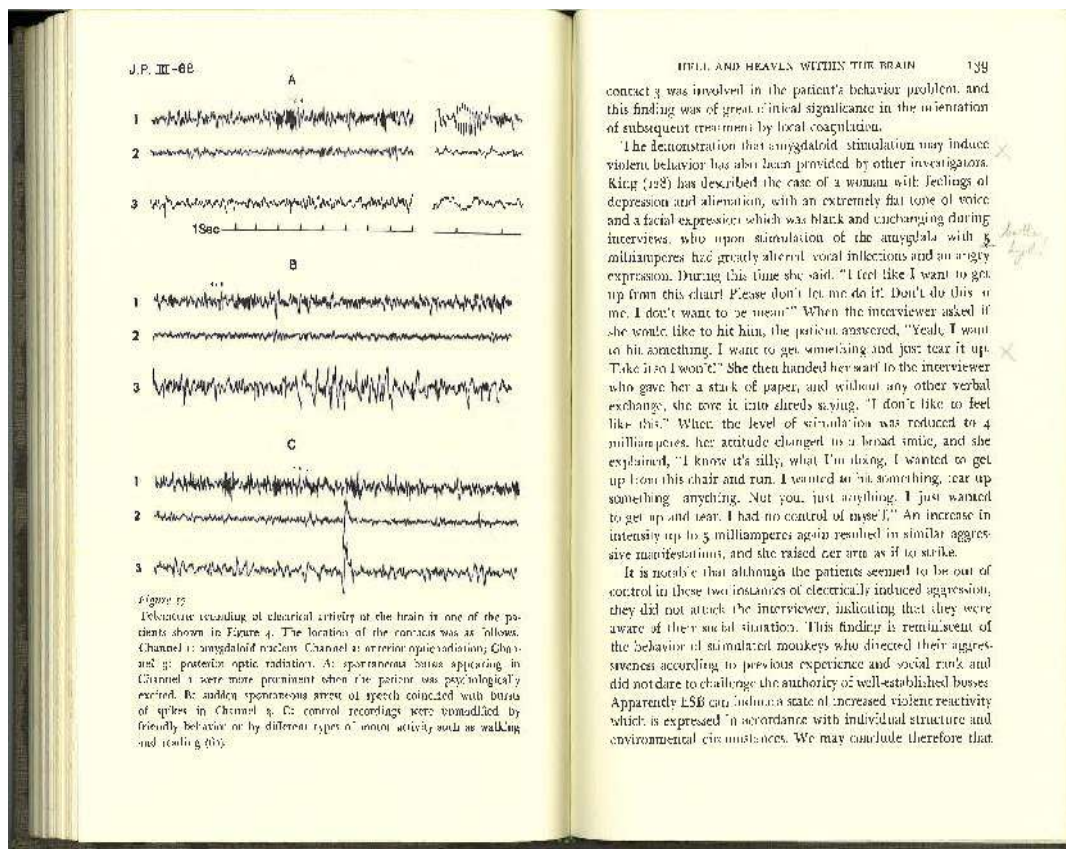


デルガド博士の研究から学べること

脳刺激場所	反応
猿: 視床下部の電気刺激	瞳孔収縮操作 ESBの飽くなき追求
猫: 右運動皮質の電気刺激	左足をあげる
猿: 側頭葉への電気刺激	口開く、腕を動かす
猿: 脳蓋電気刺激	平衡感覚失う、右回り回転
猿: 赤核電気刺激	2本足で歩く
猿: 3ミリ離れた別の赤核電気刺激	あくび誘発
猫: 前視床下部への電気刺激	みせかけの攻撃症状
猫: 外側視床下部の電気刺激	ほんとうの怒り誘発
猿: 脳の電気刺激	眠り誘発
猿: 尾状核の電気刺激	食欲減退
猿: 尾状核の電気刺激	攻撃性抑制
牛: 脳刺激の電気刺激	行動停止
猿: 中脳刺激の電気刺激	指をかむ、子供放棄

デルガド博士スティモシーバーでの治療の様子

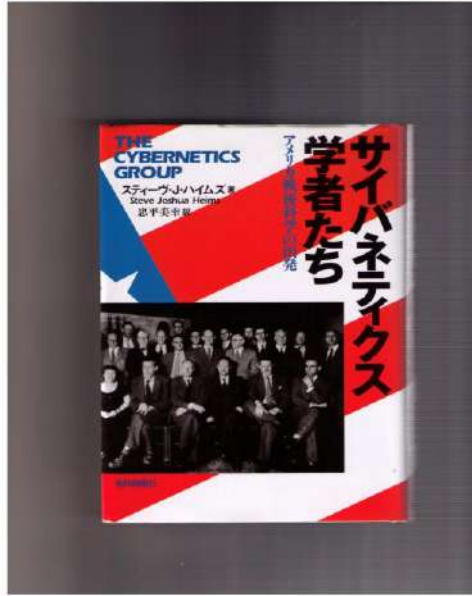
バイオ・テレメトリー技術＝脳波センシングの基本型



デルガド博士の研究の人間バージョン

サイバネティクス会議(メイシー財団後援)

脳を電子回路とみたてた機械論的性格



『サイバネティクス学者たち』
スティーブ・ハイムズ著
2001年朝日新聞社刊

ノーバート・ウィナー:数学者

ジョン・フォン・ノイマン:コンピューターの論
理構造の設計者

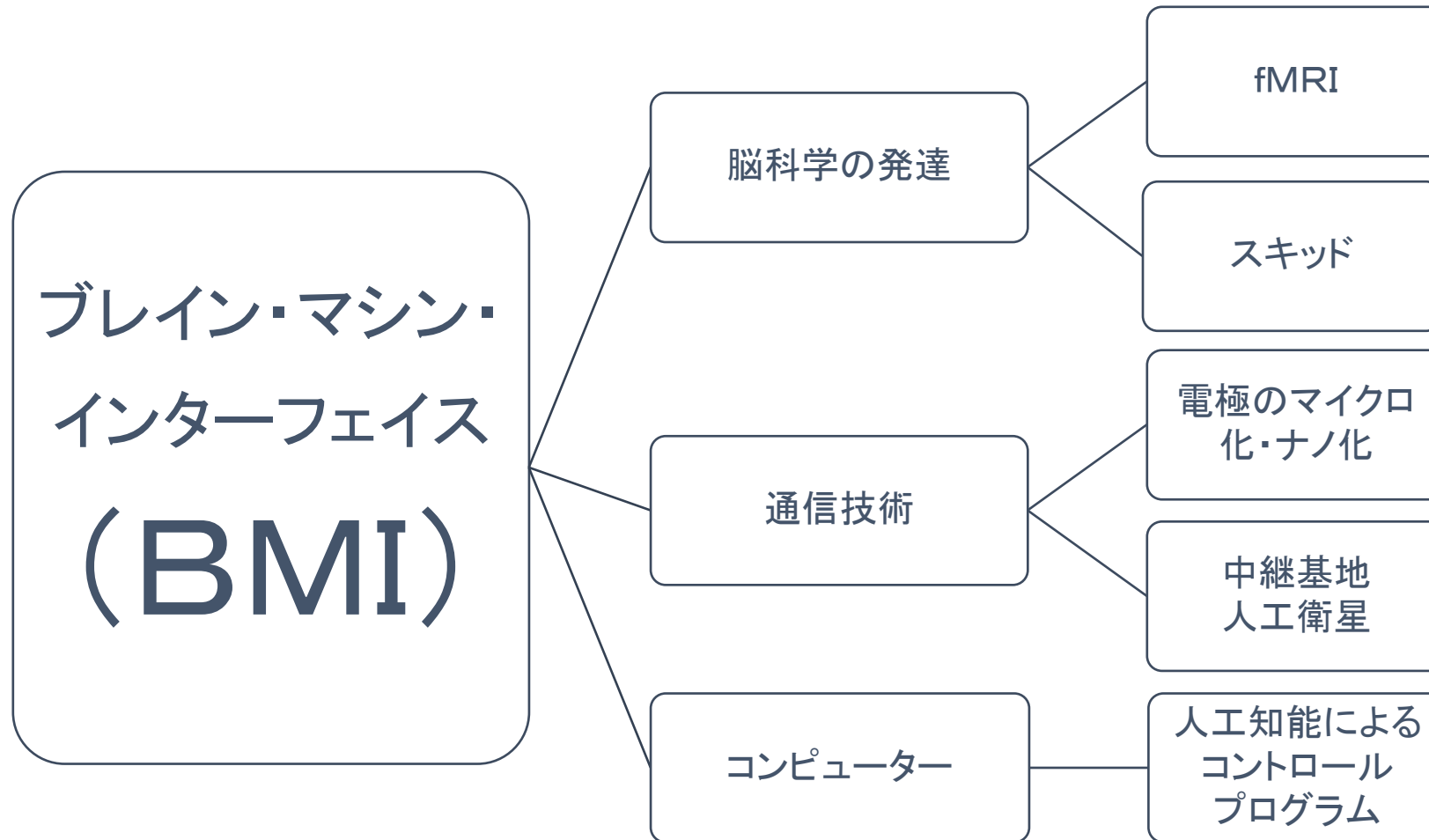
ロレンテ・デ・ノ:神経細胞の電気的特性

ウォーレン・スタージス・マカラック:脳神経
研究(エール大学)

サイバー技術（造語）

- 「サイバー（サイバネティクス）という言葉は、1947年、プリンストンにおいて、科学者の間で造語され、コントロールとコミュニケーション技術、特に人間の脳・生物学的システムとコンピューター[○]の連結に関する技術のあらゆる物事を表す言葉となった」

ブレイン・マシン・インターフェイス



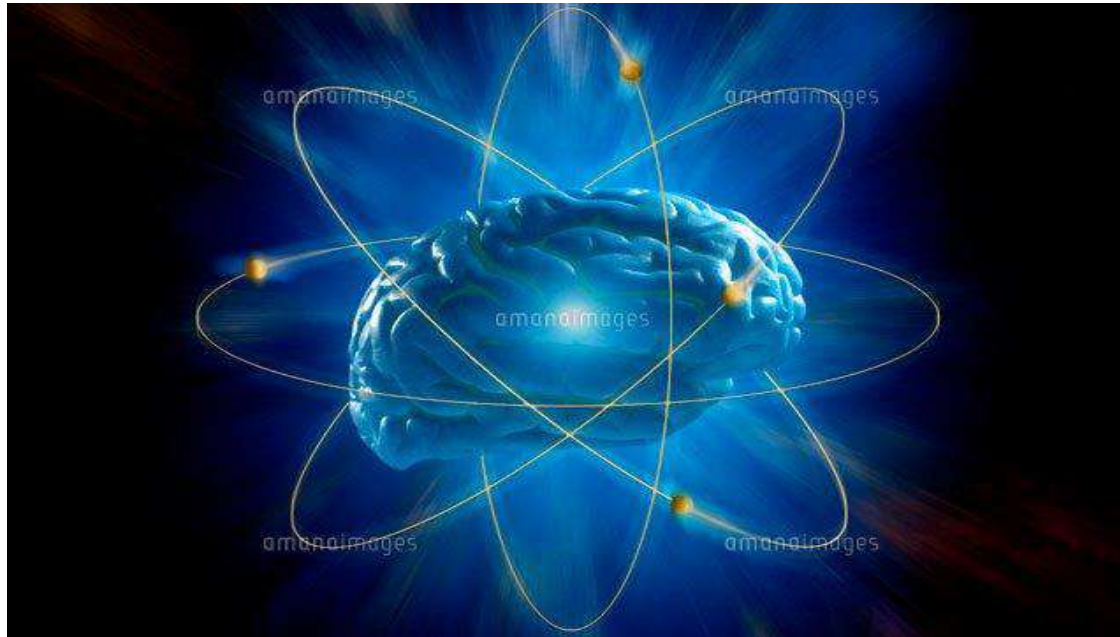
右上親知らずへのインプラント



思考への介入(英国型)

電子が原子の周りをぐるぐる周るように頭の周囲を回る感覚

人間対象テンペスト



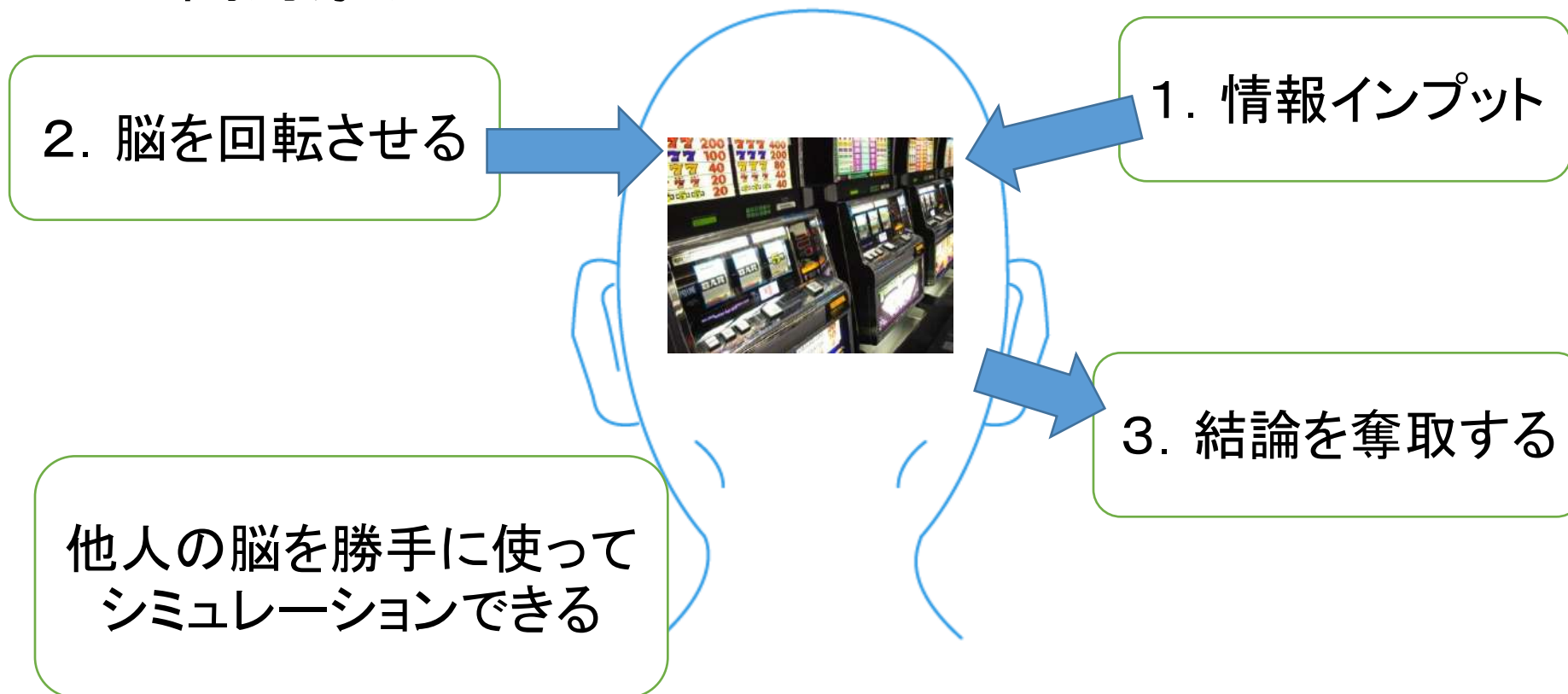
思考を促進
して判断を
導き出す

脳スキャン技術？

思考への介入(日本型)

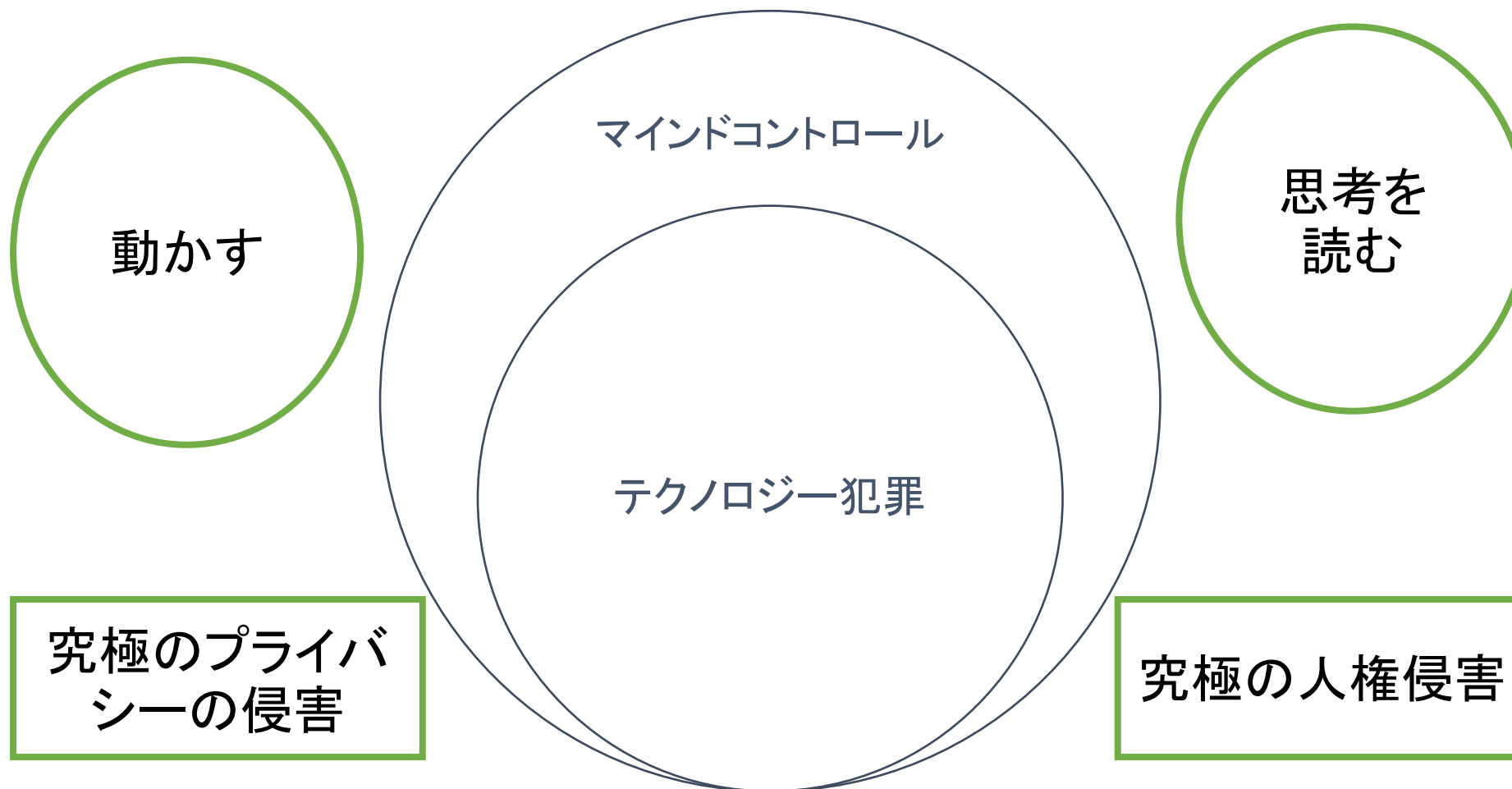
スロットマシンのように作用する

人間対象テンペスト

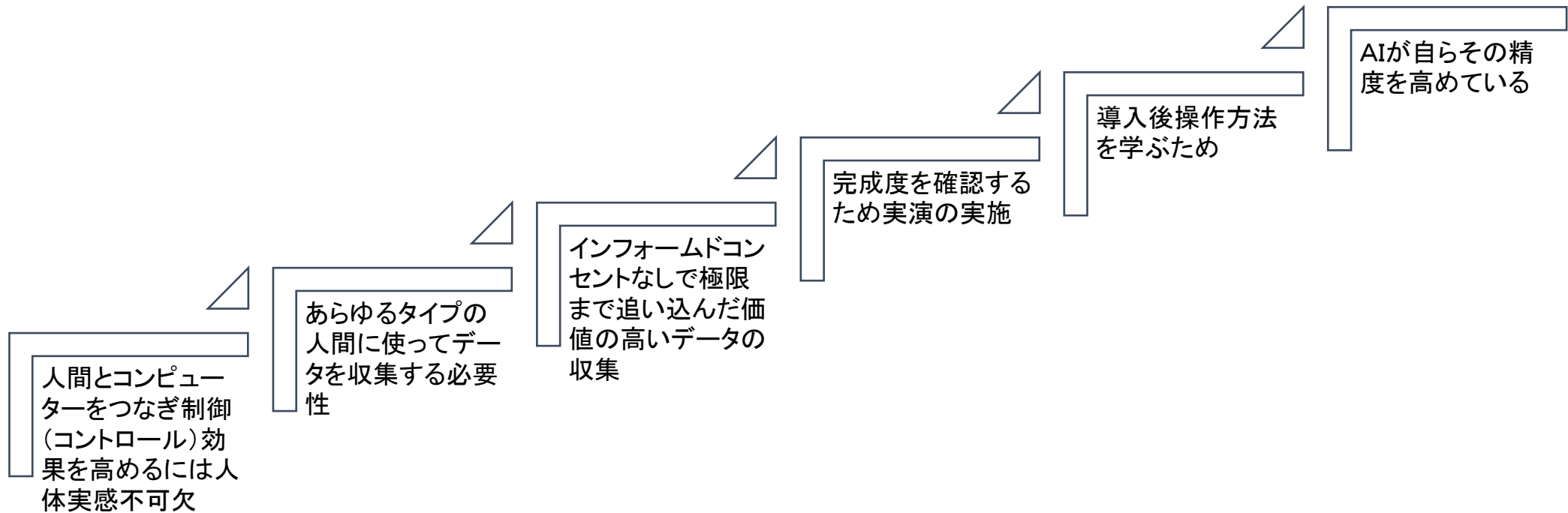


軍事面における情報収集技術の究極

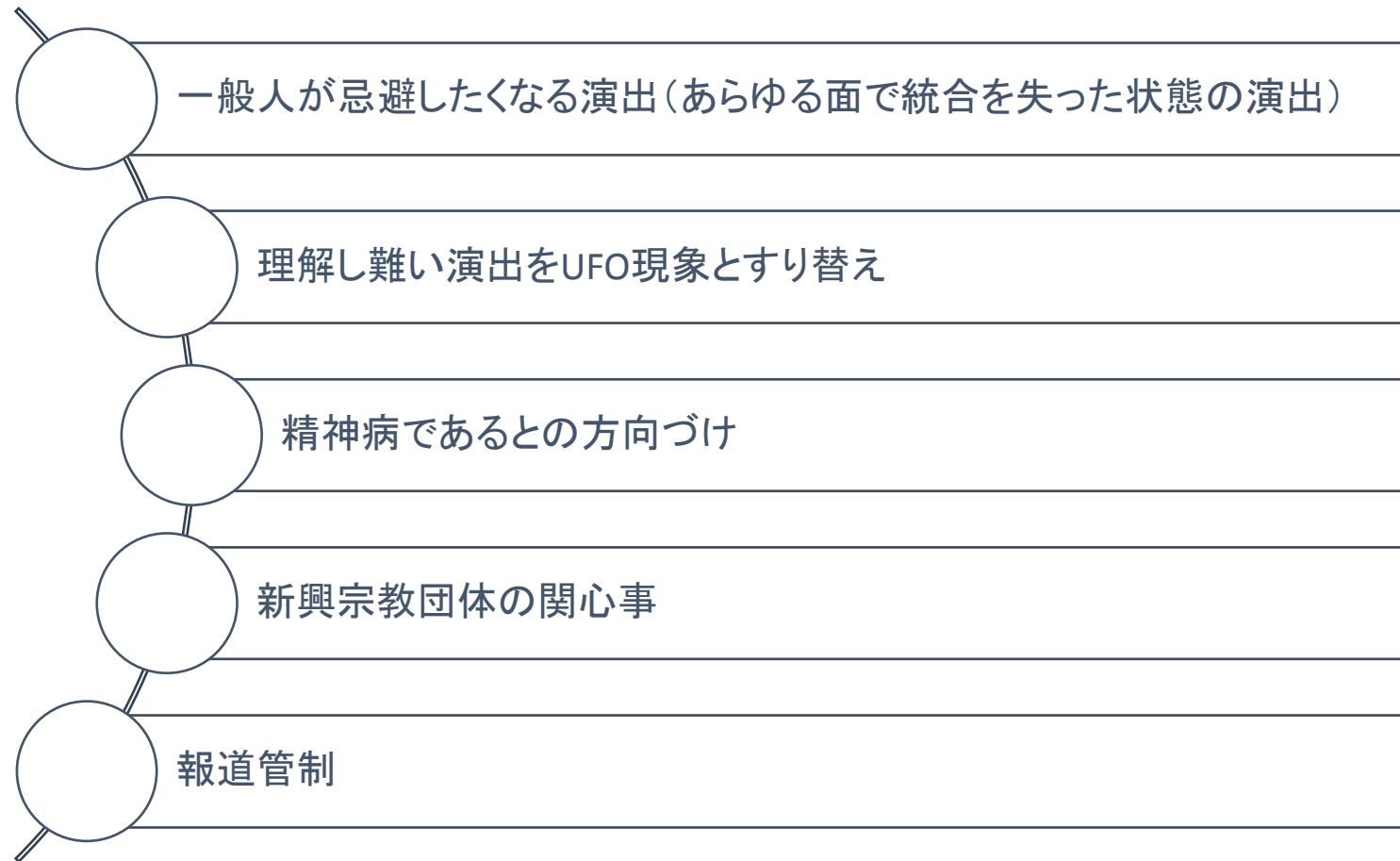
思考読み・動かす＝マインドコントロール技術



BMI開発＝人体実験不可欠＝必然的な被害者の出現



情報操作による一般認識との格差



軍事技術＝守秘義務＝一般認識との格差

サイバネ
ティクス技
術＝人間
コントロー
ル技術＝
軍事技術

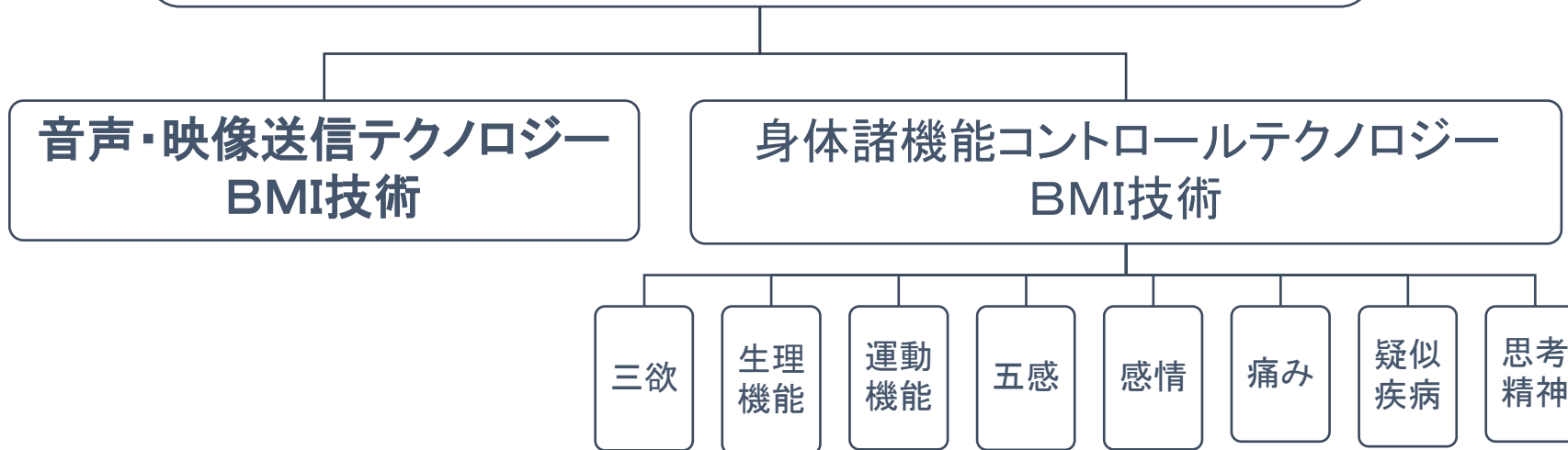
国家の最
高の頭脳
を投入＝
科学技術
開発の奔
流

人体実験
不可欠

守秘義務
特定秘密
保護法の
対象？

サイバネティクス技術

サイバネティクス技術≡BMI技術
ストーキングテクノロジー



サイバネティクス技術を駆使するコントローラの存在
＝テクノロジー犯罪主体

高度情報化時代の戦争

The US Army War College Quarterly Parameters 1998年春号 ティモシーL.トーマス著『心にファイアーウォールはない』

人間の身体はコンピューターのように無数のデータプロセッサーを内蔵している。

脳、心臓、末梢神経系の化学・電氣的活性、大脳皮質部から身体の他の部位に送られる信号、聴覚信号を処理する内耳の小さな有毛細胞、視覚的活動を処理する眼球の感光性の網膜と角膜などがこれに相当する。



身体のこのようなデータプロセッサーを操作したり、弱体化させる時代に足を踏み入れようとしている。

「情報戦争」の理論の変更の必要性

ティモシーL.トーマス著 『心にファイアーウォールはない』

システムのデータ処理に的を絞
り、戦場での情報支配を勝ち
取ることを目的とした理論

味方の身体のデータ処理能力
を守り、敵の同じ機能をター
ゲット化する

身体のデータ処理システムを
改変する機能が既に存在して
いる現在では深刻なものと思
なされる。

人間は閉システムでなくオープンシステム ソルンツェフ博士

人間を有機体や閉システムのように単純ではなく、オープンなシステムと見なす必要があると主張している。オープンシステムとして、人間は情報の流れと通信メディアを通じて周囲の環境と対話する。電磁、重力、音響、その他の影響を通じた物理的環境は、有機体の精神生理学的な状況の変化を引き起こすことができる。

ロシアの見解：サイコロニクス(精神工学)戦争勃発の危機 ティモシー L. トーマス著『心にファイアーウォールはない』

最近のロシアの軍事文献は、——人類は心と身体に的を絞った「サイコロニクス(精神工学)戦争の勃発の危機に瀕している」と断言している。同文献では、VHFジェネレーター、「ノイズレス・カセット」、その他の技術の使用による人間と人間の意志決定プロセスの精神物理的状态を制御しようとする、ロシアや他国の試みを考察している。

サブリミナルメッセージの挿入や、身体の心理的なデータ処理能力を改変するための機器を中心とした、全く新しい保有兵器を、人間を無能力にするために使用することができる。このような兵器は、心理のコントロールや改変、あるいは人体の様々な感覚とデータ処理系統の攻撃を目指している。いずれの場合も目的は、通常は身体の平衡を維持している信号の混乱または破壊である。

テクノロジー犯罪を可能にする武器の存在が証明された！

元FBI特別捜査官テッド・ガンダーソン氏



ギャングストーキングで使われている新技術

元FBI捜査官テッド・ガンダーソン氏証言

1980年代以降、ギャングストーキング行為は新たな通信・監視技術を利用し、その規模や激しさ、複雑さを増してきました。

エシュロンプログラム

カーニーボアシステム

テンペストプログラム

エシュロン(通信傍受システム)



増田米二：高度情報化社会の警鐘

『The Information Society』1980年刊

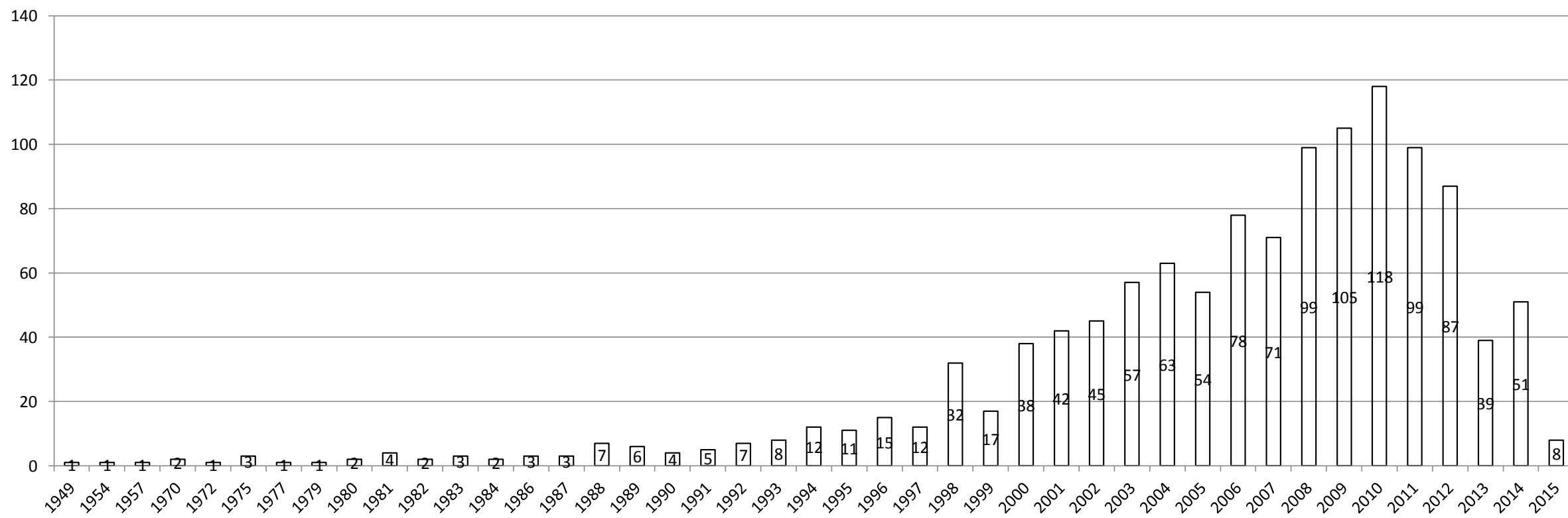
現代の通信技術の危険性、また国境を越えて人間の脳をコンピュータにつなぐことが可能になるコンピュータの先端的な利用の危険性について

「人々がこのような神経学的な通信システムを学習せずに、その用途への影響力を掌握すれば、新しい種類の専制君主が出現する恐れがある。――さらに従来 of 専制国家での人権の抑え込みも、今後被ると見られている不当な扱いに比べると、さほど重要性を帯びなくなるだろう。――技術は国民の個人的な生活と社会活動を制限し、管理する能力を国家にもたらす。」

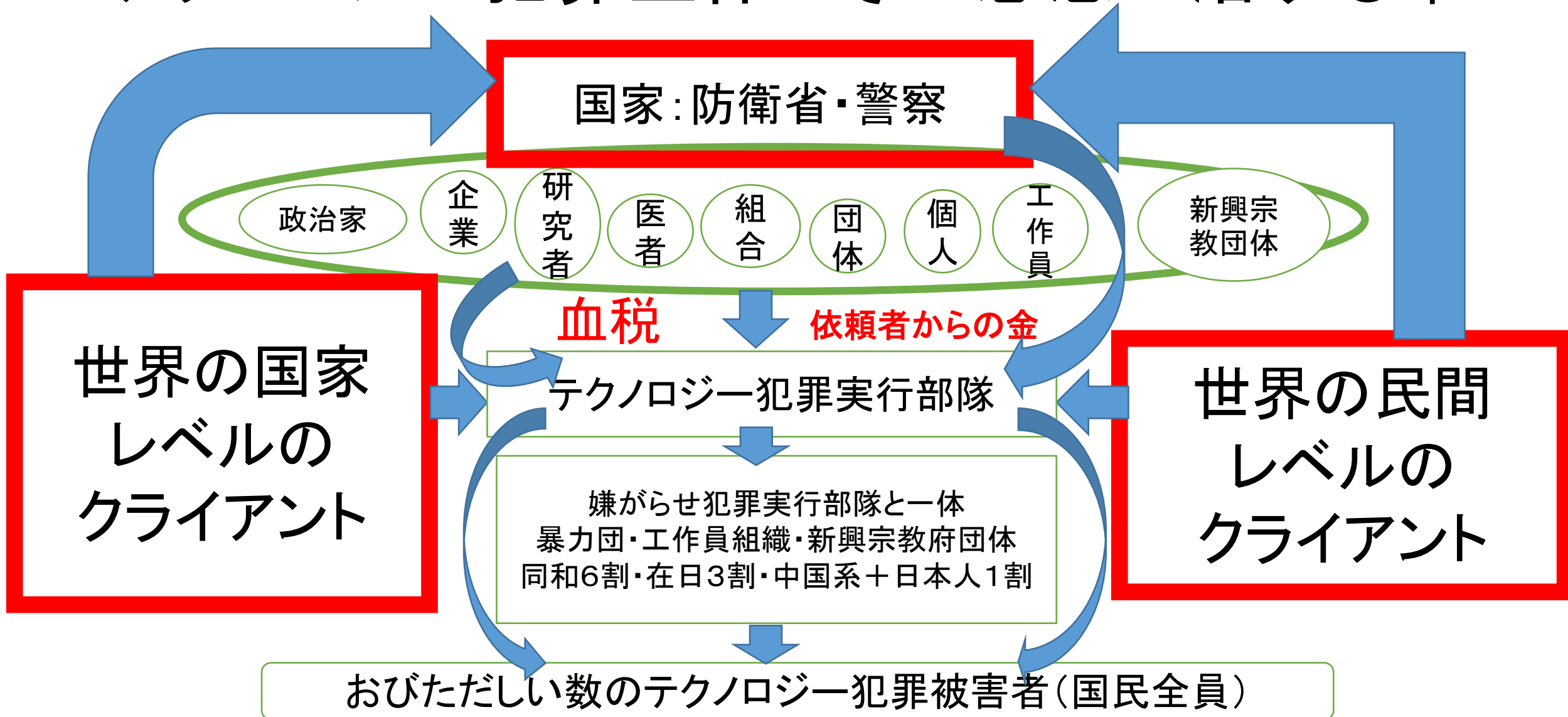
“Savages, Science and Brain-Computer Technology” Gruppen刊 p1

テクノロジー犯罪被害認識年度

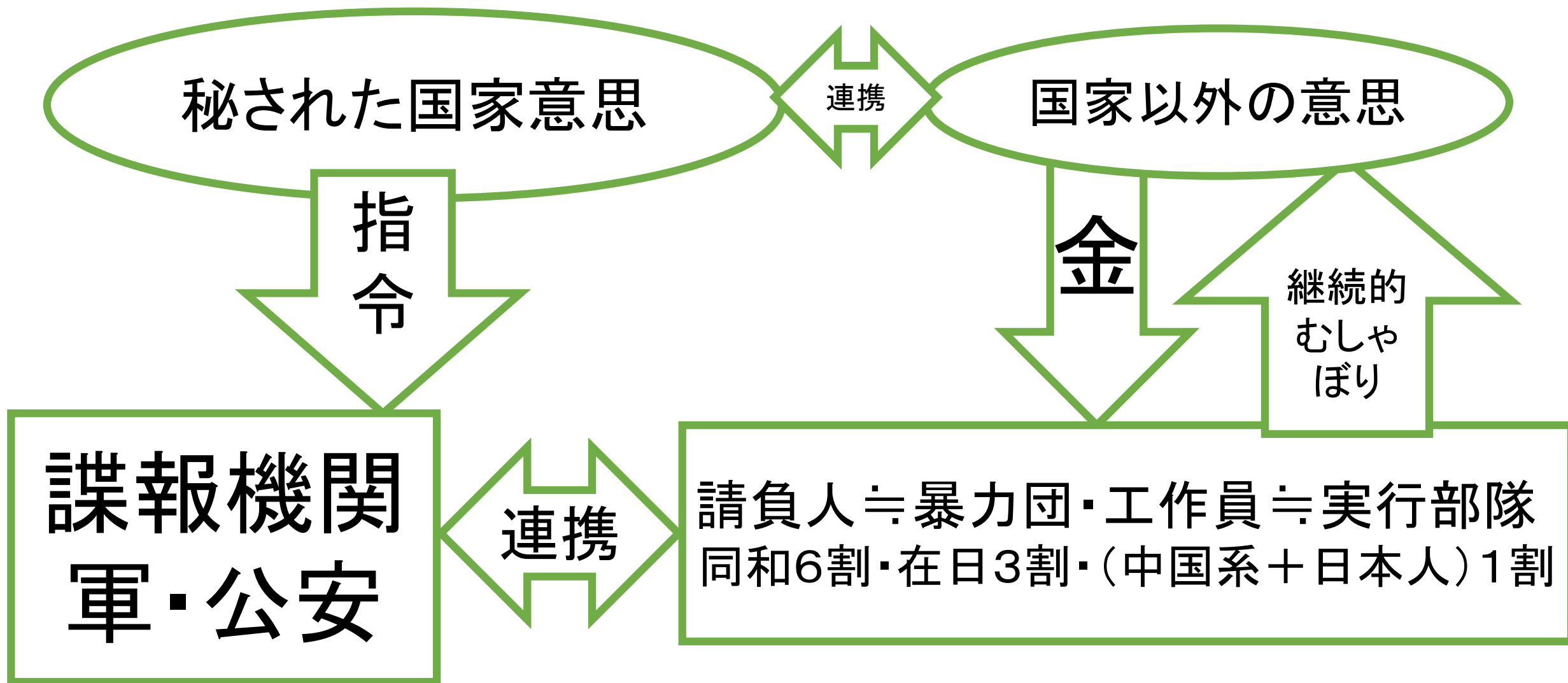
テクノロジー犯罪被害認識年度 1400名



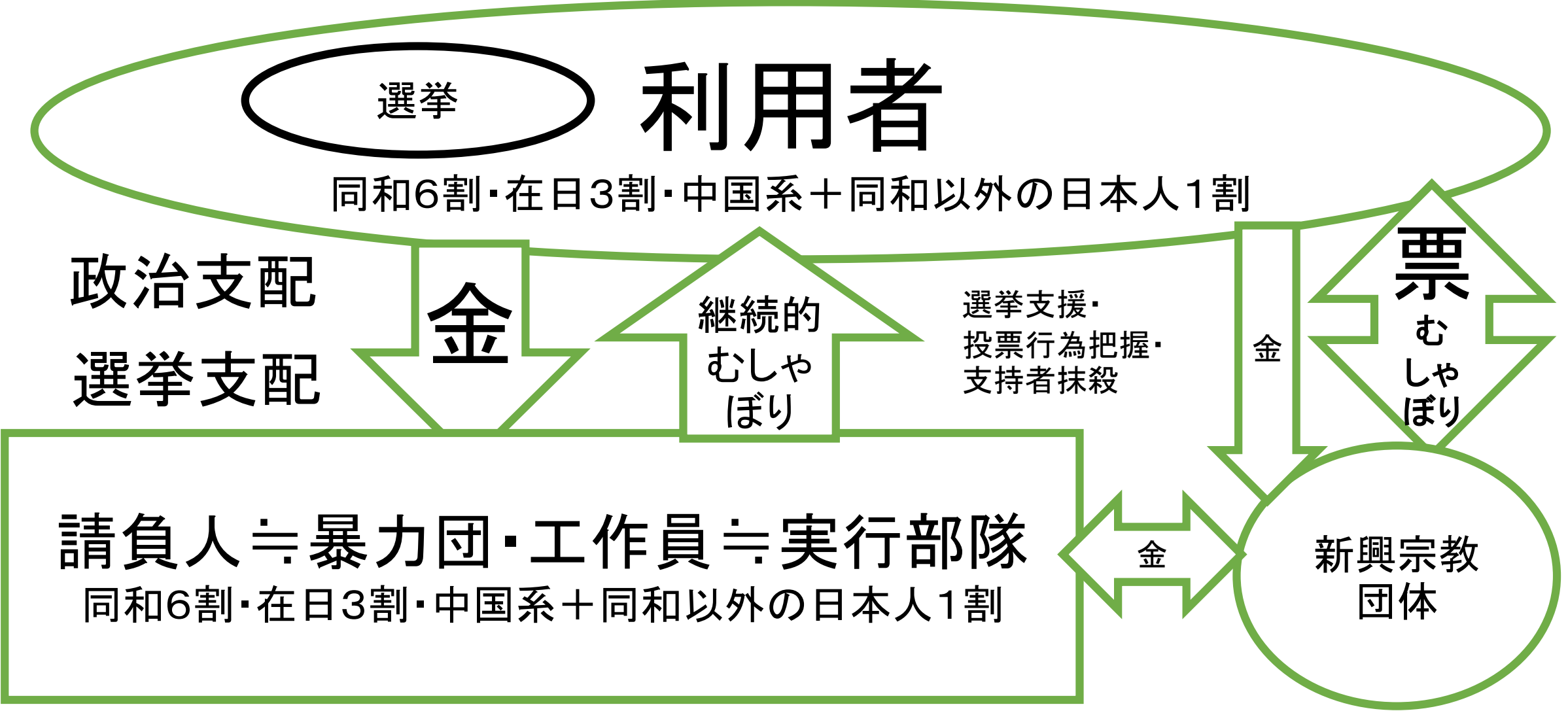
テクノロジー犯罪主体とその恩恵に浴する輩



テクノロジー犯罪と嫌がらせ犯罪利用者と請負人との関係



テクノロジー犯罪と嫌がらせ犯罪利用者と請負人との関係

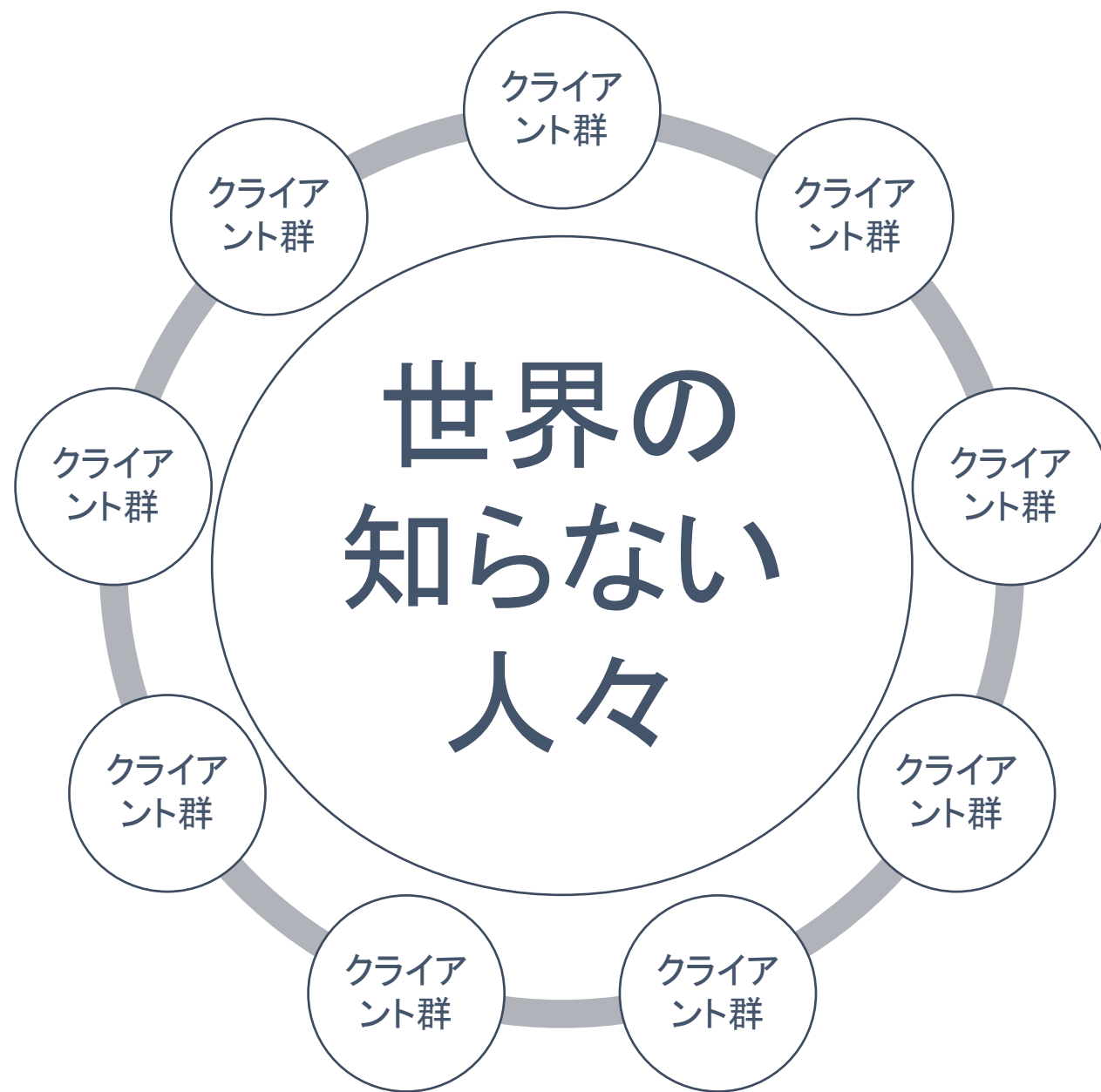


知っていて使える輩
その恩恵に浴する輩＝国体

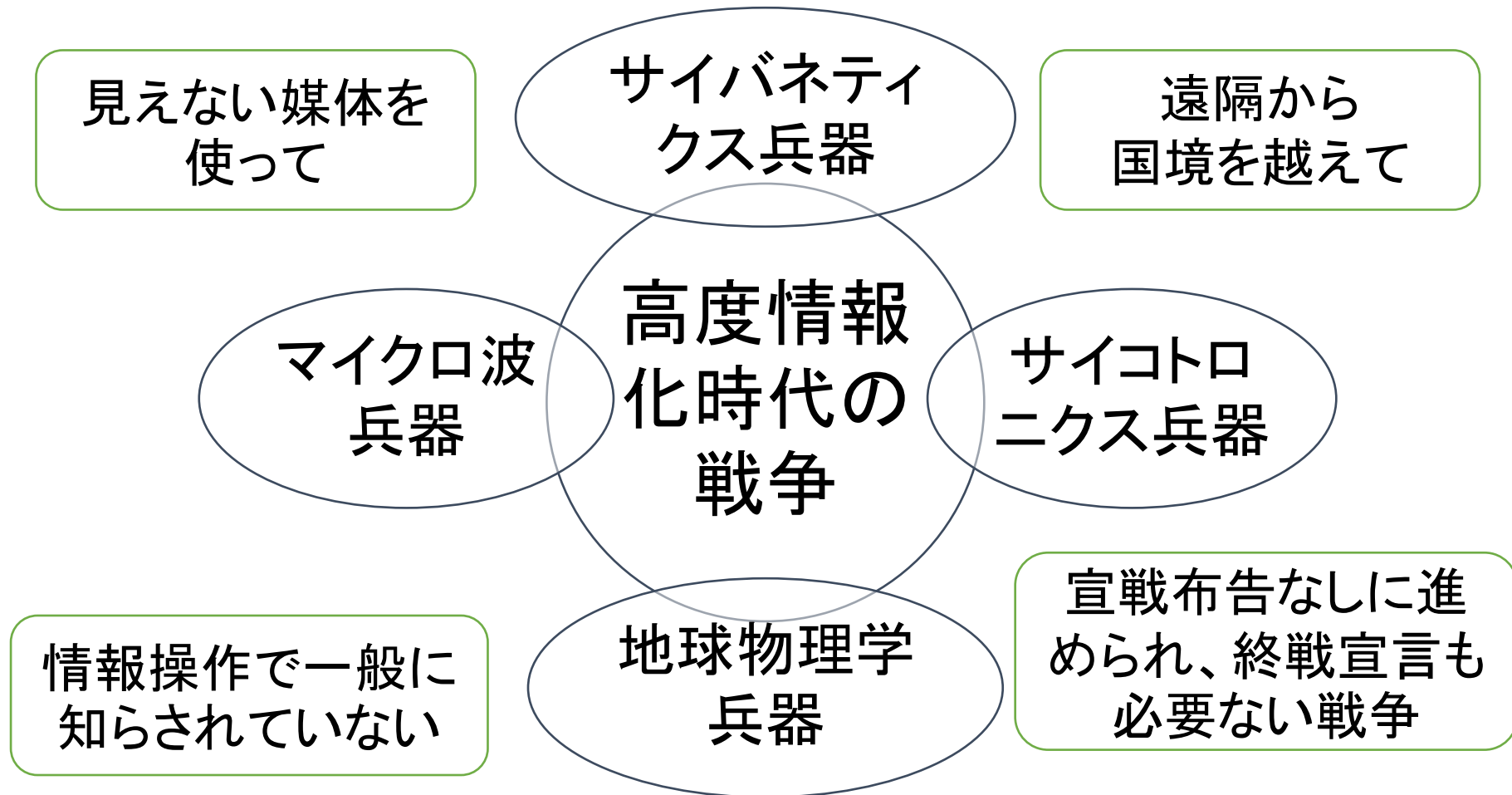
テクノロジー犯罪＋嫌がらせ犯罪

知ってい
て使わな
い人

全く知らない
人々



高度情報化時代の兵器と戦争



100年後・200年後に、あれが第三次世界大戦だったのだと評されるような戦争

地球物理学兵器：巨大災害

(2003年1月15日プラウダ記事)

高周波送信設備(スーパートランズミッター)は、イオンのポンピング(エネルギーの低い状態から高い状態への励起)により、地球環境をプラズマの状態まで加熱することが可能である。環境のコントロールをも可能にするこのプロセスから、大気現象への相当の影響もあり得ると言っても差支えない。このような兵器を所有すれば、地球のどの地域においても洪水や竜巻、嵐、また地震でさえもプログラムできる。また民間や軍の監視システムを麻痺させたり、国民すべての精神に影響を及ぼすことすら可能になる。

高度情報化時代の戦争の遂行に不可欠なもの

守秘義務

特定秘密保護法



日本は過去の轍を冒してはならない！

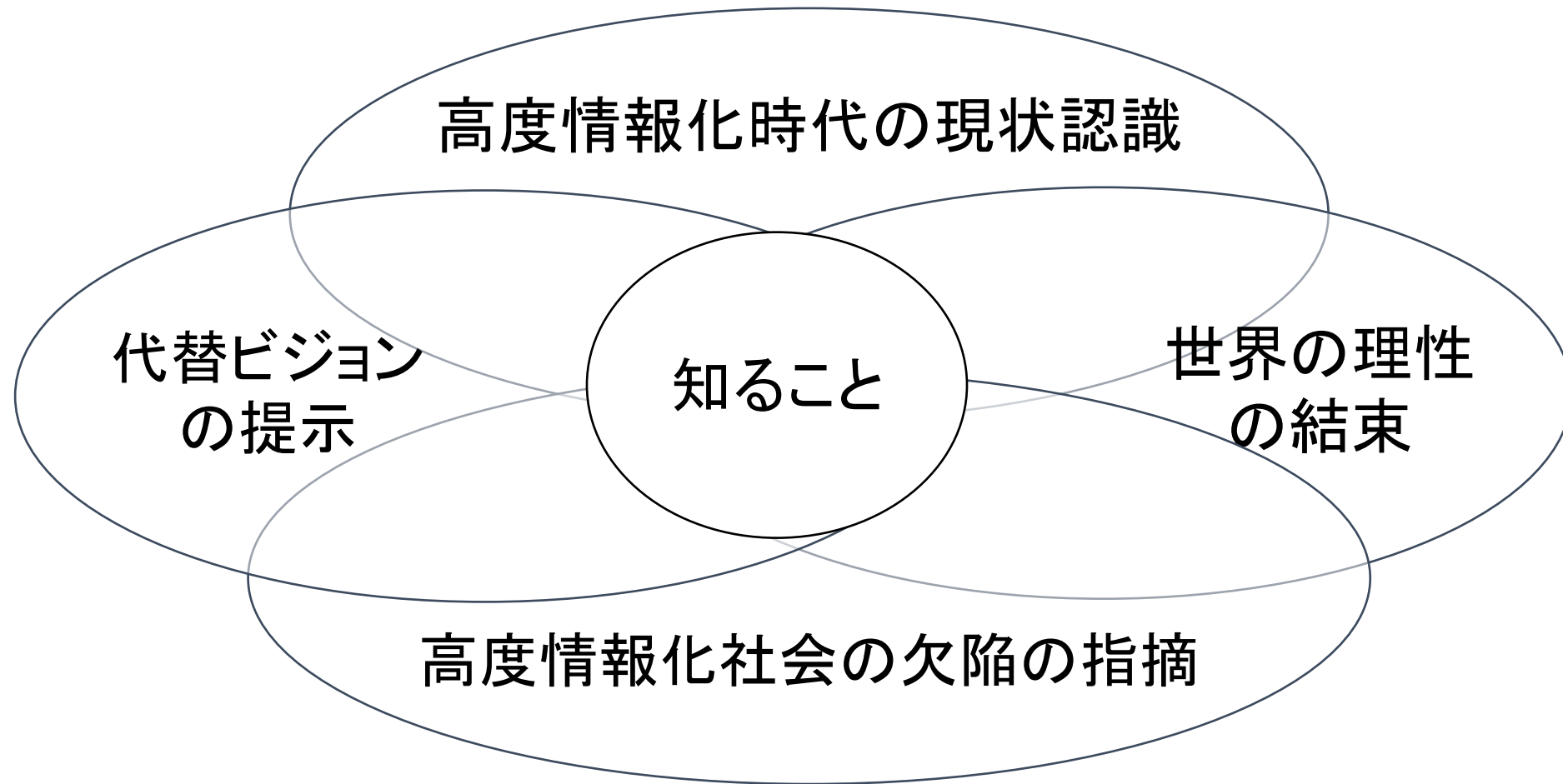
日本は高度情報化時代の戦争を受け入れる態勢が出来上がっている！

国内にそれを受け入れる組織がなければできない！

その組織が手足として使われて進められているのが、これまでとは次元が違う戦争、第三次世界大戦である！

日本は過去の轍を犯そうとしている！！！！

犯罪主体の思惑から逃れるために



国民全体の問題！ 地球人民の問題！

高度情報化時代を超えて！
壮大な創造の時代に入っている！

第四部

質疑応答・韓国の被害者紹介

終演